

令和5年度

まくらざき 家庭教育手帳

家庭学習ガイドブック



「まくらざき家庭教育手帳」は
スマホやパソコンでも御覧いただけます！！



「きばらん海」のマスコットキャラクター:「キバッチョ」
「きばってます!」「もときばれ!」という意味がこめられています。

枕崎市教育委員会

も く じ

	ペ	ー	ジ
1 家庭学習ガイドブックとは？			1
2 家庭学習の前に・・・			2
3 家庭学習以外にも取り組んでほしいことがあります！			3
○ 書いてみよう①！ 1日のタイムスケジュール			4
□ 小学生・中学生のみなさんへ（学習の進め方）			5
◇ 家庭学習の流れ（小・中学生共通）			6
◎ 小学校1・2年生の学しゅう			7～ 8
国語 : ステップ1・2			7
算数 : ステップ1・2			8
◎ 小学校3・4年生の学習			9～12
国語 : ステップ1・2			9
算数 : ステップ1・2			10
社会 : ステップ1・2			11
理科 : ステップ1・2			12
◎ 小学校5・6年生の学習			13～16
国語 : ステップ1・2			13
算数 : ステップ1・2			14
社会 : ステップ1・2			15
理科 : ステップ1・2			16
◎ 中学校1・2・3年の学習			17～21
国語 : ステップ1・2			17
算数 : ステップ1・2			18
社会 : ステップ1・2			19
理科 : ステップ1・2			20
英語 : ステップ1・2			21
※ その他にも家庭で取り組んでほしいこと			22
4 中学生の皆さんへ			23
☆ 家庭学習の充実に向けて①			24
☆ 家庭学習の充実に向けて②			25
☆ 家庭学習の充実に向けて③			26
○ 書いてみよう②！ 1週間の生活リズムチェックシート			27～29
● 本に親しもう			30～35
◎ 枕崎について知ろう①			36～38
◎ 枕崎について知ろう②			39～41
※ 令和5年度生涯学習課関係の行事について（予定）			42～43
☆ 親として知っておきたいこと			44



立神岩の風景

この手帳は、子供たちの健やかな成長を願い、よりよい家庭教育について、親子で考え、一緒に行動していくことを応援するために作成しました。

悩んだり、困ったりしたときに手にとってもらえることを願っています。また、家庭はもちろんのこと、学級PTAや家庭教育学級などでも、ぜひ積極的に活用していただけるとありがたいです。

1 家庭学習ガイドブックとは？

授業と家庭学習で確かな学力を身に付けさせましょう！！

小・中学校では、子供たちの学力の向上をめざして、授業の改善・充実に取り組んでいます。学校で学んだことをしっかりと身に付けるために、家庭学習は欠かせません。

「まくらざき家庭教育手帳 家庭学習ガイドブック」は、家庭学習の道標となるように作成しました。毎日少しずつでも家庭学習をすることが、生涯にわたって自ら学び、豊かで幸せな未来をひらくことにもつながります。

家庭学習が習慣化して自主的に取り組むことができるよう、ご家庭におかれましては、以下の点をご理解いただき、「まくらざき家庭教育手帳 家庭学習ガイドブック」を活用していただければ幸いです。

(1) 家庭学習の道標

「自主学習ってどんなことをすればいいの？」と迷ったことはありませんか。この手帳は、教科ごとに、自主学習のヒントを紹介しています。ステップ1はその教科を苦手としている人、ステップ2はその教科を得意としている人に向けた内容になっています。これらを参考に学習に取り組ませてみましょう。そして、時々、学習方法が自分に合っているか先生に見てもらいなどして、子供たちに合った自主学習ができるようにしてください。

(2) 家庭での学習習慣の定着

子供たちは放課後、そして帰宅後もいろいろな活動を行っていて、なかなか忙しい生活を送っています。その中で、毎日決められた時間に家庭学習を行うことは大変ですが、家庭学習を習慣化することはとても重要なことです。家庭学習の継続こそ、現在と将来の学力の基礎を固め、発展させていくために大いに役立つものです。

枕崎市では、「家庭学習 40・60・90・120 運動」(※ 1 ページ下に説明があります。)に取り組んでいます。各学年の家庭学習時間を参考に、子供たちに合ったやり方を見つけて、励ましてあげてください。

(3) 自主的な家庭学習

小・中学校では、学校から宿題が出されたり、自主学習のノートの提出が求められたりすることが当たり前ですが、高校では、自分に必要な学習を自ら探して取り組むことが求められます。高校生になったときに予習・授業・復習のサイクルで自ら学習に取り組むことができるように、自主的な学習を習慣化しておく必要があります。「今、必要な学習は何か」「どのように学習するとよいか」を考え、実行する力を身に付けてほしいものです。

与えられた宿題に取り組むことから始めて、徐々に自主的な学習を増やしていきましょう。9年間かけて、子供たちが自主的に学習に取り組む力を身に付けられるよう、学校と家庭の両サイドから支援していきましょう。

※ 1日の家庭での学習時間のめやす「家庭学習 40・60・90・120 運動」

● 1・2年生 → 40分以上

● 3・4年生 → 60分以上

● 5・6年生 → 90分以上

● 中学生 → 120分以上



2 家庭学習の前に・・・

☆ **自分で必ずできるようになりましょう！！**

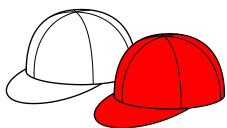
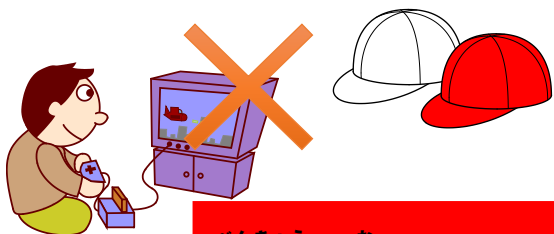
Check!
☺

＜帰ったら、すぐにやっしまおう！＞

- 制服や帽子は、片付けましたか？
- 連絡帳や生活ノートを見ましよう！
- プリントやお便りは出しましたか？
- さあ、勉強を始めましよう！
 - ・ テレビやゲーム、スマホは消しましたか？
 - ・ 誘惑に負けないようにしましよう！！
 - ・ 姿勢はいいですか？
 - ・ 鉛筆の持ち方は正しいですか？

【保護者の皆様へ】

- 学習で大切なことは、集中することです。
- 「時計の針が〇までに」「タイマーで〇分」など、徐々に学習時間を長くできるようにしていきましょう。
- 生活のリズムをつくり、家庭学習の習慣を付けましよう。



勉強が終わったら・・・

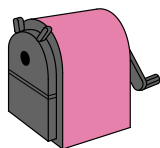
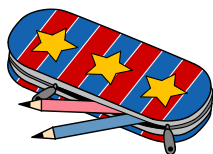
＜明日の準備！忘れ物がないように！！＞

Check!
☺

- 時間割は調べましたか？
- 準備する物はいれましたか？
- 鉛筆は削りましたか？
- 筆箱の中身はそろっていますか？
- ハンカチやティッシュを入れましたか？

【保護者の皆様へ】

- 「整理整頓」「次の学習準備」は、学習の基本です。ランドセル・制服・教科書・ハンカチ・連絡帳などの置き場所を決めておきましよう。
- 一つ一つ自分でできるようになるまで、見守りつつ励ましてください。



＜早寝・早起き・しっかり朝食！規則正しい生活を送りましよう！！＞

3 家庭学習以外にも取り組んでほしいことがあります！

いえ なか <家の中で・・・>

- できることは自分でやりましょう。
 - ・ 靴並べ、食器運び、風呂掃除、上履き洗い…、いろいろあります。
 - ・ できることを増やしましょう。そして、続けましょう。
- 本を読みましょう。
 - ・ 「1日20分読書」に取り組みましょう。
 - ・ どんな本が好きですか。いっぱい読んでお気に入りの本を見つけましょう。
 - ・ 毎月23日は「親子読書の日」です。家族で読書に取り組みましょう。



【保護者の皆様へ】

- 「ありがとう」「助かったよ」等、感謝の気持ちを伝えることで、やさしい気持ちと意欲が芽生えます。
- 手伝いを続けることで、責任感や忍耐力が養われます。家の仕事は、自立への第一歩です。

【保護者の皆様へ】

- 読書をすると言葉が増え、「表現力」や「想像力」が豊かになります。
- 本が好きになるように、身近なところに本を置いたり、読み聞かせや親子読書などに取り組んだりしましょう。
- 大人が読書をする姿を見せることは大切です。



ゲームやスマホをしすぎていませんか？

ゲームやスマホ等には、心の発達・脳の発達、知的能力・視力・体力などへの良くない影響が指摘されています。

機器を使用する時間や場所を、親子で話し合っ決めて、守りましょう。市校外生活指導連絡会共通理解事項及び市PTA連絡協議会重点事項「インターネット環境機器の使用は午後9時までとする」を守りましょう。

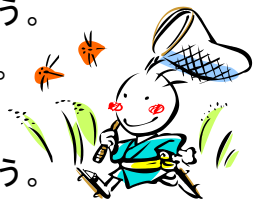


ちいき なか <地域の中で・・・>

- 人と遊びましょう。
- 行事に参加しましょう。
- 祭り、伝統行事、清掃活動…
- 友だちと昔の遊びに挑戦しましょう。かくれんぼ、けん玉、竹とんぼ…など

しぜん なか <自然の中で・・・>

- 花や野菜を育てましょう。
- 生き物を育てましょう。
- 草花で遊びましょう。
- 星や月を見てみましょう。
- 自然の中で遊びましょう。

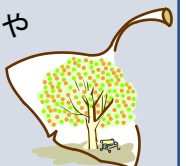


【保護者の皆様へ】

- 機械で遊ばせるより、人と遊ばせましょう。
- 人とつながり、体を動かして遊ぶことは、体力だけでなく、協調性や忍耐力、そして思いやりの心を育て、生きる力を身に付けさせてくれます。
- 親子で地域の行事に参加して、大人も子供も、「顔」でつながり、「声」でつながり、「心」でつながりましょう。

【保護者の皆様へ】

- バーチャルなものではなく、本物に触れさせましょう。五感が発達します。
- 自然の中には、子供の胸がときめく発見がいっぱいあります。また、自然の恵みや厳しさも学べます。「生きる知恵」を育む体験をたくさんさせましょう。



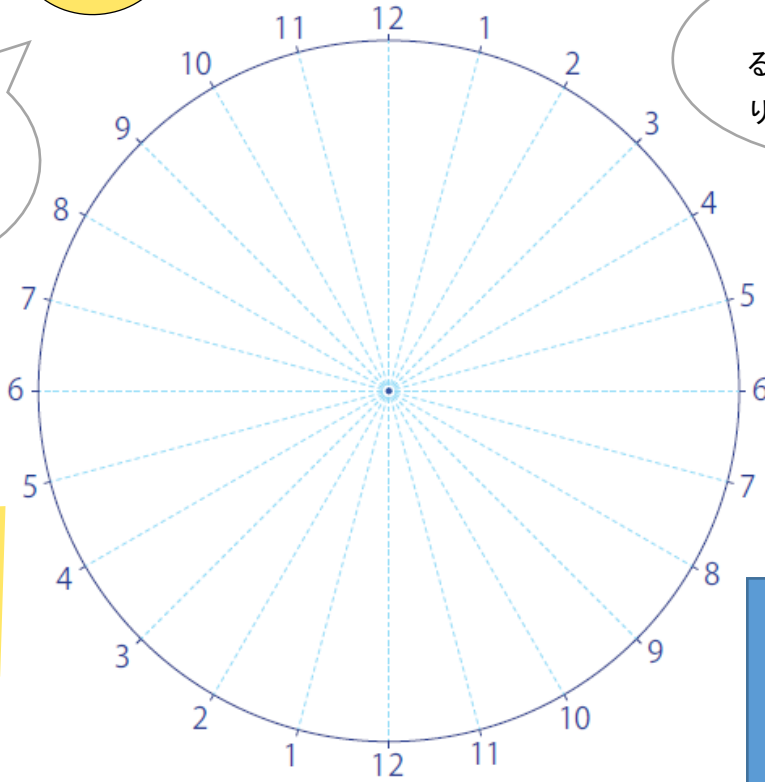
か
書いてみよう①!

にち 1日のタイムスケジュール

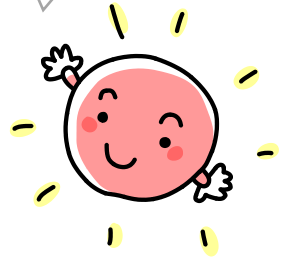
いつも



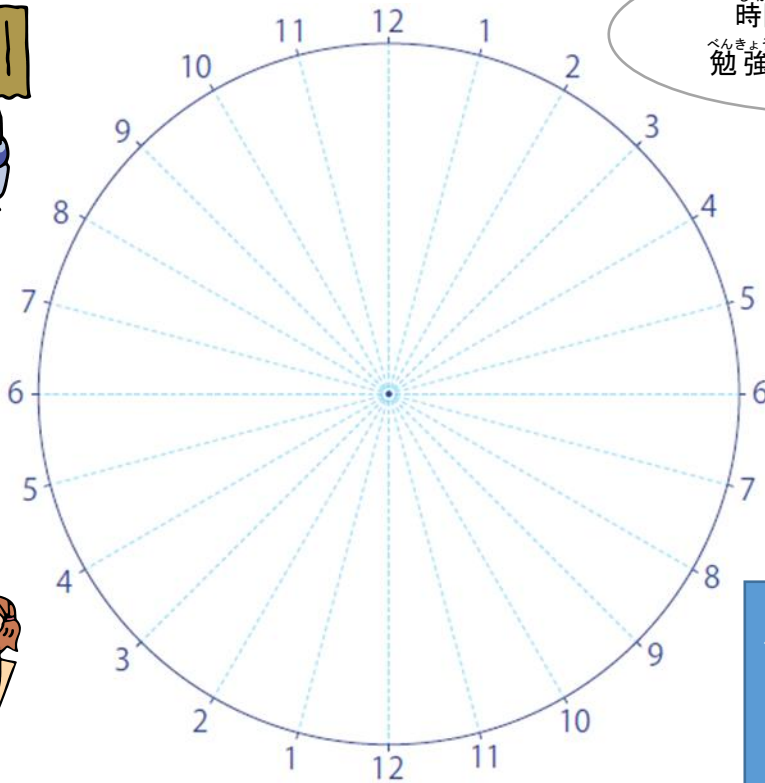
ときどき
書き直して
みよう!



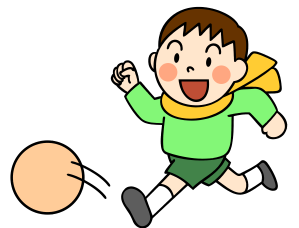
ちゃんと守れてい
るかな?ときどき振
り返ってみよう!



やす
休み



時間を決めて、家で
勉強しているかな?



べんきょうじ かん もくひょう
勉強時間の目標

ぶん 分

しょうがくせい ちゅうがくせい かくしゅう すず かた
小学生・中学生のみなさんへ（学習の進め方）



1 家での学習の流れ【学校から出された宿題から自主学習へ！】

ステップ1…まず、学校から出された宿題をしましょう。

ステップ2…次に、自主学習（復習や学習ノート作りなどを）しましょう。

※ 「まくらざき家庭教育手帳」の7ページから21ページを参考にしましょう。

ステップ3…最後に、次の日の学習の準備をしましょう。

2 学習する時間のめやす【40・60・90・120を達成しよう！】

しょうがっこう 1～2年 … 40分	しょうがっこう 3～4年 … 60分
しょうがっこう 5～6年 … 90分	ちゅうがっこう 1～3年 … 120分

3 気を付けること【学習に取り組む環境も大切です！】

- 部屋の中や机の中などを整理し、学習しやすい雰囲気をつくりましょう。
- 家では、必ず学習の時間を確保しましょう。（毎日の積み重ねが大切です。）
- 毎日続けて（めやすの時間以上）学習しましょう。
- テレビを見ながらなど、「ながら」学習をせずに、集中して学習に取り組みましょう。（スマホやゲーム機は、学習の前に片付けましょう。）
- 「早寝・早起き・朝ご飯」を心がけ、規則正しい生活を送りましょう。

4 「まくらざき家庭教育手帳」の自主学習での活用の仕方

- 各教科の進め方の内容は、「ステップ1」と「ステップ2」に分けています。
- 「ステップ1」の学習からスタートし、「ステップ2」の学習へと進んでいきましょう。

かていがくしゅう おも なが しょう ちゅうがくせいきょうつう 家庭学習の主な流れ（小・中学生共通）

◎ 家で勉強する時刻を決めておきましょう。

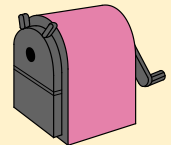
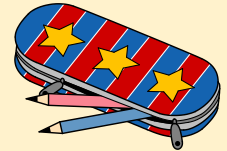
まいにち おな じこく はじ しょうかんづ
毎日できるだけ同じ時刻に始めるようにしましょう。それを習慣付けていくと、勉強を無理なく続けていくことができます。

1 最初に、宿題をします。

きょうがっこう だ しゅくだい すべ お
今日学校から出された宿題を全て終わらせます。

れい にっきぶん せいかつにつき
(例) 日記文 (生活日記)

かんじ れんしゅう えいたんご れんしゅう
ひらがな・カタカナ・漢字の練習・英単語の練習
がっこう くば がくしゅう など かだい
学校で配られた学習プリント・ドリル・ワーク等の課題



2 次に、自主学習を進めていきます。

(1) 復習は、習ったその日のうちにします。

きょうじゅぎょう がくしゅう ないよう きょうかしよ ふ かえ
まず、今日授業で学習した内容を、教科書やノートで振り返ってみましょう。

れい きょうかしよ ひ いちど
(例) 教科書にアンダーラインを引いたところをもう一度チェックしてみましょ

じゅぎょう ばんしょ きろく み がくしゅう ないよう ふ かえ
授業の板書を記録したノートを見ながら、学習した内容を振り返って
みましょう。

(2) 時間に余裕があるときは、予習にも挑戦します。

れい きょうかしよ なか れいだい と さんすう すうがく
(例) 教科書の中にある例題を解いてみましょう。(算数・数学)

ようご しら しゃかい りか
用語について調べてみましょう。(社会・理科)

あす がくしゅう よてい きょうかしよ ないよう よ りっぱ よしゅう
明日学習する予定の教科書の内容を読むだけでも、立派な予習になります。

3 最後に、明日の学習の準備をします。

がくしゅう どうぐ わす もの
学習する道具の忘れ物がないようにしましょう。

がっきゅうしゅうほう かくにん
(学級週報で確認します。)





国語

ステップ1

- ① 音読…今、べん強しているところを読もう。
- ② 文字…ならった「ひらがな」「カタカナ」「かん字」をノートにしていねいに書こう。
- ③ ししゃ…今、べん強しているところの文しょうをノートに書きうつそう。
- ④ 読書…いろいろな本を読もう。読書がにが手な人は、絵本から読んでみよう。

ステップ2

- ① あんしょう…今、べん強しているところをくりかえし口に出しておぼえよう。
- ② 文字…ならった文字をつかってみじかい文を作ろう。
- ③ 読書…物語などを中心に、いろいろなしゅるいの本を読もう。

ノートのれい

スシサ	ういあも	れび	ー
スシサ	ういあじ	るろそらせ	
スシサ	ういあの	町とこんひス	
スシサ	ういあれ	へしてし	ー
スシサ	ういあん	とたス	白ホ
		む草	いの
山大小	くきか	か原ホ	馬白
山大小	くきかう	いをは	にい
山大小	くきか	まこ	の馬
山大小	くきか	しえ白	マ
山大小	くきか	たて馬	て
		。、に	、
		けま	けい
		いた	い
		馬が	馬
		のり	に
		ひ	出
		らひ	て
		かろ	ご

○ 「とめ」「はね」「はらい」「おれ」「まがり」に気をつけて、きれいに書こう。

- ① ことばのまとまりを大切にしながらししゃしてみよう。
- ② 読点（「、」や「。」）に気をつけて、いねいに字を書こう。

○ 「日記」「たん文作り」「ししゃ」などを書きおわったら、もう一ど読みかえしてみよう。ことばや文しょうのひょうげんにまちがいはなかったかな。

父は、	会社	学校で、	学校	新出	ことば
会社	会社	かん字	学校	かん字	つばあ
に	会社	かん字	学校	みじかい	あつめ
い	会	字を	学	じかい	とめ
る。	ぎ	なら	し	かい	ば
	う	う。	ゅう	文	か
			う	ラ入	春
			ぶ	ン学	の
				ド学	た
				セル	新
				生	か
					い
					ば
					さ
					くら

○ しらべたことばは、日記や作文などの中でもつかってみよう。

○ 学校でならったことや家の人に聞いたことをもとにしながら、いろいろなことばをあつめてみよう。

【ししゃ】(視写)： 教科書などの文しょうを、ノートなどにそのまま書きうつすこと。

○ 文しょうを声に出して読みながらししゃしてみよう。



算数

ステップ1

- ① これまでの学しゅうでまちがえたもんだいをもう一度とこう。
- ② 計算のし方をノートに書こう。
- ③ 算数の用語をおぼえよう。
- ④ かけ算九九を声に出してくりかえし読もう。
- ⑤ 三角じょうぎやじょうぎを使って、ならった図形やもようをかこう。



ステップ2

- ① じゅぎょうでならったことをもとにして、もんだいを作ろう。
- ② 教科書のれんしゅうもんだいとこう。
- ③ みの回りから算数にかんけいするものを見つけてしらべよう。
- ④ 数の読み方や書き方をれんしゅうしよう。
- ⑤ くり上がりやくり下がりに気をつけて、2けたまでのたし算・ひき算を正しく計算できるようにしましょう。
- ⑥ 正しく計算することができるようになったら、つぎは少しずつはやく計算することができるようにしよう。
- ⑦ かけ算九九をすらすら言えるようにれんしゅうしよう。

ノートのれい


けいさんドリル7
 □ けいさんをしよう。
 (1) $5 + 2 = 7$
 (2) $4 + 3 = 7$
 (3) $6 - 2 = 4$
 (4) $8 + 3 = 12$
 (5) $15 - 7 = 8$

計算ドリル4
 □ 計算をしよう。
 (1) $2 \times 3 = 6$
 (2) $3 \times 7 = 21$
 (3) $4 \times 9 = 36$
 (4) $5 \times 8 = 40$
 (5) $9 \times 7 = 63$

やりなおし(テスト)
 ・長さをはかろう。(ほかのたんでいてもあらわしてみよう。)

- ① えんぴつの長さ
 $7 \text{ cm} \times 70 \text{ mm}$
- ② ノートのたての長さ
 $12 \text{ cm} \times 120 \text{ mm}$
- ③ ひもの長さ
 $100 \text{ cm} \times 1 \text{ m}$

・つぎのもんだいとこう。
 画用紙を1人もまいもっている。4人が同じまい数もっているとする。ぜんぶで何まいになるでしょうか。

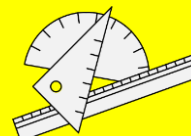
(しき) $6 \times 4 = 24$
 図をかいた場合

 (答え) 24まい

けいさんドリル3
 □ ()の中にすうじをかこう
 ① 99より1大きいかず 100
 ② 60より1小さいかず 59
 ③ $2 - 4 = 6$ $8 - 10 = 2$
 ④ $60 - 70 = 80$ $90 - 100 = 10$
 ⑤ $16 - 18 = 20$ $22 - 24 = 2$

教科書10ページ
 □ ひっ算をしよう。
 ① $17 + 35 = 52$ ② $24 + 48 = 72$
 $\begin{array}{r} 17 \\ + 35 \\ \hline 52 \end{array}$ $\begin{array}{r} 24 \\ + 48 \\ \hline 72 \end{array}$
 ③ $73 - 25 = 48$ ④ $92 - 43 = 49$
 $\begin{array}{r} 73 \\ - 25 \\ \hline 48 \end{array}$ $\begin{array}{r} 92 \\ - 43 \\ \hline 49 \end{array}$

【算数の文しょうもんだいといてみよう。】

- ① 文しょうもんだいのもんだい文を書きます。
- ② しきを立てます。
- ③ 計算をします。(ひっ算も、けさずにかかわらずのこしておきましょう。)
- ④ 答えを書きます。【れい】(答え) → 線を引く(れい) 0まい, 0回, 0cm, 0m → たんいも書きます。



- くり上がりやくり下がりがあるひっ算は、そのあとをしっかりとのこしておこう。
- べん強したことを何でもふりかえることのできるノート作りをしよう。



○ おわったら、自分で答え合わせとやりなおしをして先生にノートを出しましょう。

ステップ1

- ① 音読…今、勉強しているところを読もう。
- ② 文字…習った漢字や熟語をノートにていねいに書こう。
- ③ 視写…教科書の文や詩、お話などをノートに書き写そう。
- ④ 読書…いろいろな種類の本を読もう。



ステップ2

- ① 暗唱…短歌・俳句・ことわざなどを覚えよう。
- ② 文字…習った漢字の意味を調べ、熟語を使って短文を作ろう。
- ③ 日記・作文…自分でテーマを決めて書こう。
(ニュースや身の回りの事がらなどから)
- ④ 読書…読み終わったら、感想を書いたり内ようについて家族と話したりしてみよう。

ノートの例

管	参
くカ	まサ
バン	さん
管	参
理	加
管	お
を	イ
時	ベ
間	ン
を	ト
さ	に
し	参
管	参
理	加
こ	す
む	る
す	

○ 漢字の読みは、音読み・訓読み(音訓)の区別がしっかりできるようにしよう。

○ 今日学習したことを、自主学习ノートにまとめながら自分でふり返ってみよう。

よ	い	し	文	ま	漢	た	が	名	わ	石	短
う	の	の	字	し	字	か	め	月	ら	走	歌
に	日	が	た	は	は	な	今	や	の	る	・
く	本	あ	は	は	俳	が	夜	池	上	垂	句
ふ	人	り	い	は	句	ら	は	を	を	水	に
う	使	は	ま	っ	は	秋	中	め	い	の	親
し	っ	せ	ぽ	る	る	池	の	ぐ	き	上	し
ま	と	ん	う	か	か	の	名	り	お	の	し
し	な	で	む	む	か	ま	月	て	い	さ	も
た	日	り	し	日	か	わ	。水	夜	に	わ	う
。本	の	た	本	し	し	り	を	も	く	ら	び
語	中	そ	は	中	国	を	一	す	た	の	の
を	国	こ	は	国	を	晩	つ	が	だ	な	き
書	で	こ	も	で	中	歩	た	ら	あ	の	そ
き	使	で	も	で	歩	い	月		。そ	の	ば
表	わ	と	生	ま	て	し	な	松	志	貴	皇
せ	れ	む	も	ま	ま	ま	ど	尾	皇	子	子
る	て	か	と	れ	な	な	を	芭	蕉		

- 視写と暗唱を組み合わせながら覚えてみよう。文の表現を自分のものにできるといいね。
- 長い文章の説明文・物語文などについても、自主学习で視写と暗唱に取り組んでみよう。
- 視写をするときは、まちがいがないように一字一句を確認しながら正しく書こう。

- 「五七五」「五七五七七」などの日本語のもつ独特のリズムは、自分で何度も声に出しながら覚えよう。これをくり返していくことが大切です。

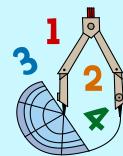
○ 「日記」「短文作り」「視写」などを書き終わったら、もう一度読み返してみよう。語句や文章の表げんにまちがいはなかったかな。



算数

ステップ1

- ① これまでの学習でまちがえた問題をもう一度とこう。
- ② じゅ業ぎょうの中で自信のなかった問題をもう一度とこう。
- ③ 計算かたのし方を書こう。
(計算ドリルの問題をくり返しとこう。)
- ④ 算数の用語を覚えよう。
(算数の大切な言葉を書いたり声に出したりして覚えよう。)
- ⑤ 三角定規・コンパスを使って、習った図形ずけいや模様ようをかこう。



ステップ2

- ① じゅ業で習ったことを使って問題を作ろう。
- ② 教科書の練習問題をしよう。
- ③ 身の回りから算数に関係するものを見つけて調べよう。
(物の長さ・場所の広さ・時間の長さ)
(じゅ業で習った図形や模様)

※ 二等辺三角形・正三角形・平行四辺形・いろいろな模様

ノートの例

① 次の時ときくくををままとめとめよう。

① 午前9時25分から50分後
(午前10時15分)

② 午後5時40分から45分前
(午後4時55分)

※ 午前・午後 → わすれない

② 362 - 224 の筆算ひっ算のしかた

5	10		5	10		5	10
3	6	2	3	6	2	3	6
-	2	2	-	2	2	-	2
		8			3		8
							1
							3

① 2 - 4 = 8 5 - 2 = 3 3 - 2 = 1

※ 3けたのひき算も、2けたのときと同じしくみで考えられる。

① 今日の学習のまとめ

3000と4000の間にある数を約何千と表すには、百の位の数字が、

0, 1, 2, 3, 4 のとき、
約3000

5, 6, 7, 8, 9 のとき、
約4000

とします。

このようにしてがい数がいすうで表す方法を、四捨五入よっしつごにゅうといいます。

↓ 百の位の数字を四捨五入する。

3	3	6	1
↓	↓	↓	↓
3	3	8	1
↑	↑	↑	↑
3	3	8	1

↑ 下で0にする。 ↓ 下で0にする。

約3000 約4000

① 今日の学習のまとめ

向かい合った1組の辺が平行な四角形を、台形たいけいといいます。

向かい合った2組の辺が平行な四角形を、平行四辺形へいけいしやうけいといいます。

計算ドリル20

① 計算をしよう。

① 0.9 × 5 ② 3.7 × 44

0.9	3.7
× 5	× 44
4.5	148
	148
	1628

○ 今日学習したことを、その日のうちに自主学習のノートにもまとめてみよう。算数の用語や学習の中で大切なところは、朱書きしゆにしたり線を引いたりしよう。また、自分で学習のまとめまでしてみよう。

○ くり上がりやくり下がりなどのある計算のあとは、そのまま消さずに残しておこう。

○ ひっ算は、位をそろえ、小数点もわすれないようにしっかりと書こう。
(定じようぎを使って線を引くこと。)

○ 終わったら、自分で答え合わせとやりなおしをして先生にノートを出しましょう。

○ 学習したことを後で何度もふり返ることができるように、ノートはきれいにまとめるようにしよう。分からなかったことは、先生に何度もしつ問してみよう。



社会

ステップ1

- ① 教科書や副読本を声に出して読もう。[3回以上]
- ② 地図記号カードを作ってみよう。
- ③ 自分で問題を作るとしてみよう。

ステップ2

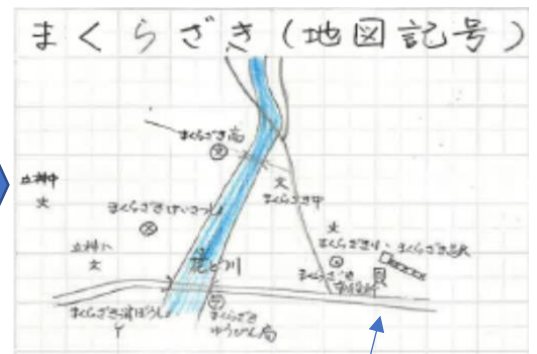
- ① 学校で学習したことを、もう一度 ノートに書いてみよう。
- ② 地図をかいてみよう。
- ③ 「社会科の用語」を使って、社会科のクイズを作ってみよう。
- ④ 家の人といっしょに社会科に関することを体けんしてみよう。
- ⑤ 家の人といっしょに枕崎市内をたんけんしてみよう。



※ 社会科の副読本を使って、枕崎市や鹿児島県のことをくわしく調べてみよう。

ノートの例

地図記号 (示しているもの)	もともになったもの (由来)
文 → <u>小・中学校</u>	漢字の「文」の形
卍 → <u>神社</u>	神社にある鳥居の形
⚓ → <u>漁港</u>	船のいかりの形
X → <u>交番</u>	2本の警棒が交わる形
→ <u>田</u>	いねをかき取ったあとの形



- 地図記号をまとめるときは、もともになったもの (由来) もいっしょに書いておこう。
- 覚えた地図記号を使って、わたしたちが住んでいるいる枕崎市の地図を作ってみよう。



- 白地図を使って、自分だけの都道府県クイズを作ってみよう。
- ※ 47 都道府県名を全部覚えることができるように、何度もくり返し声に出したり書いたりしてみよう。

水源の森林のはたらき
 森林には、木の根によって土や砂をおさえこみ、流れ出すのをいせぐはたらきがある。
 森林はダムのようなはたらきをするので、「緑のダム」ともいわれている。

- 大切な社会科の用語は、自主学習ノートにもしっかりまとめておこう。

- 自分がきょう味をもった学習については、教科書や副読本だけではなく、図書館の本やインターネットを使ってくわしく調べてみよう。



理科

ステップ1

- ① 勉強したところの教科書を読もう。
- ② 教科書の「まとめ」を自主学習ノートに写そう。
- ③ 教科書にのっているこん虫や植物を、家でもさがしたり調べたりしてみよう。
- ④ じゆ業で学んだことを利用して、おもちゃを作ってみよう。
(ゴム・風・じ石・電気のせいしつを使ったおもちゃ)

ステップ2

◆ 学習ノートの見本の他にも、家にあるいろいろな物を調べてみよう。

【学校の実験の続きを行う例】

- ゴムの車の動くきより
- 鏡ではね返した光を重ねた場所の温度
- 金ぞくの実けん (電気を通すか?・じ石に付くか?)

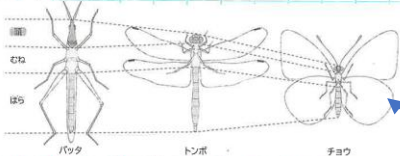


【その他の例】

- 形が変わると物の重さは変わるのかどうかを調べよう。
- 自分の家の近くにいるこん虫を調べよう。

ノートの例

○ 学習のまとめ
 (1) こん虫のせい虫の体は、**頭**、**むね**、**ほら**の**6本**の部分からできています。
 (2) こん虫の**頭**には、目や口があります。
 (3) こん虫の**むね**には、**6本**のあしがあります。



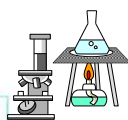
○ 学校で行った実験の続きをやってみよう。

○ 実験の続き (かがみではね返した光を重ねて当てた場所の温度調べ)

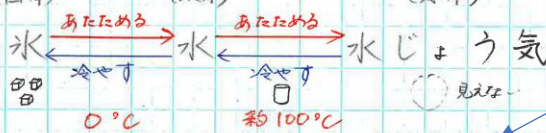
かがみの数	光を当てた前の かべの温度	光を当てた後の かべの温度
0まい	14℃	14℃
1まい	14℃	21℃
2まい	14℃	32℃
3まい	14℃	43℃
4まい	14℃	54℃

○ ^{けっか}結果から分かったことを、自分の言葉でまとめてみよう。

<わかったこと>
 かがみではね返した光をたくさん重ねていくと、温度はだんだん高くなっていく。



○ 単元のまとめ
 水のすがたの**変化**
 (1) **液体**の水を冷やすと、**固体**の水になり、液体の水をあたためると**気体**の水じょう気になります。



(2) 水は、**固体**になると、**体積**が**大きく**なります。
 (3) **湯気**は、**水じょう気**が**冷や**されて**液体**の水になったものです。

○ ^{ひつよう}必要な場合は、図も使ってまとめよう。

○ 大切な理科の用語は、**朱書き**にしたり線を引いたりするなどして、後から復習をすることができるようにおこう。

○ 植物やこん虫などの**観察**記録を自主学習でしてみるのもいいでしょう。

○ 自分がきょう味をもったことを、夏休みの理科研究でもくわしく調べてみよう。



ステップ1

- ① 音読…今、勉強しているところを読もう。
- ② 文字…習った漢字や熟語をノートに書こう。
- ③ 視写…教科書の文や詩、お話などをノートに書き写そう。
- ④ 読書…いろいろな種類の本を読もう。



ステップ2

- ① 暗唱…短歌・俳句・ことわざ・故事成語などを覚えよう。
- ② 文字…習った漢字の意味を調べ、熟語を使って短文を作ろう。
- ③ 日記・作文…自分でテーマを決めて書こう。
(ニュースや身の回りの事柄など)
- ④ 読書…読み終わったら、感想を書いたり話したりしよう。



ノートの例

友 だ ら は 、 快 く 仕 事 を 引 き 受 け て く れ た 。	ぼ く は 、 快 適 な 家 に 住 ん で い る 。	快 適 な 家 に 住 ん で い る 。	新出漢字 、 短 文	が 芽 ぶ い て く る 。	さ ほ こ よ み の う え て 、 だ ん た ん 日 が る 日 び 、 ま だ 寒	立 春 、 二 月 四 日 ご う 、 春 が 始 ま る 日 び 、 ま だ 寒	二 十 四 節 気 調 べ
---	---	---	---------------------	--------------------------------------	---	---	---------------------------------

○ 今日授業で習ったことを、その日のうちにノートにまとめながら振り返ってみよう。

【学習の例】

- ※ 主語と述語
- ※ ことわざ・故事成語
慣用句
- ※ 敬語
- ※ 和語・漢語・外来語
- ※ 複合語
- ※ 短歌・俳句
- ※ 仮名の由来
- ※ 二十四節気 など

新聞記事の切りぬきなど

め て 振 り 返 っ て み る と 、 の 状 況 を 改	経 れ と う い る 戦 争 の 今 、 の か ら 一 年 行 か わ	今 度 シ ン ア 深 く 考 え た の 間 、 一 行 か わ	平 和 と 、 あ た に ど か に い わ て い た 学 校 の た ち 考 え る 機 会
--	---	---	---

- 漢字の読みは、音読み・訓読み（音訓）の区別がしっかりできるようにしよう。
- 新出漢字ごとに調べた言葉や短文をまとめよう。
- 教科書巻末の語句索引や辞典を使って、新出漢字を使ったいろいろな言葉を集めてみよう。

- 世の中の出来事や身の回りの事からについて、自分の考えや意見を書いてみよう。
- 日記や夏休み作文の題材にして、自分の考えや思いを積極的に書いてみよう。

○ 「日記」「短文作り」「視写」などを書き終わったら、もう一度読み返してみよう。語句や文章の表現にまちがいはなかったかな。



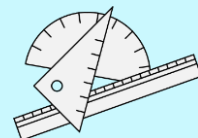
算数

ステップ1

- ① これまでの学習で間違えた問題をもう一度解こう。
- ② 授業で自信のなかった問題をもう一度解こう。
- ③ 計算のしかたを書こう。(計算ドリルの問題をくり返し解こう。)
- ④ 算数の用語を覚えよう。
- ⑤ 三角定規・コンパスを使って図形や模様をかこう。

ステップ2

- ① 授業で習ったことを使って問題を作ろう。
 - ② 教科書の練習問題を解こう。
 - ③ 身の回りから算数に関係するものを見つけて調べよう。
(物の長さや場所の広さなどについて)
 - ④ 三角定規・コンパスを使って、作図をしよう。
- ※ 二等辺三角形・正三角形・円・台形・ひし形



ノートの例

○ 今日の学習
ある整数をわりきることのできる整数を、もとの整数の**約数**といいます。

いくつかの整数に共通な約数を、それらの整数の**公約数**といいます。

公約数のうち、いちばん大きい公約数を、**最大公約数**といいます。

□ 18と27の最大公約数は何でしょうか。(教科書109ページ)
18 → (①, 2, ③, 6, ⑨, 18)
27 → (①, ③, ⑨, 27)

○ → 公約数 (答え) 9

○ 今日の学習のまとめ
2つの数量 x と y があって、 x の値が2倍, 3倍, ... になると、それにもなって y の値が $\frac{1}{2}$ 倍, $\frac{1}{3}$ 倍, ... になるとき、「 y は x に**反比例**する」といいます。

【大切】

- 図や表で考えてみよう。
- 学習のまとめもしっかりしよう。

□ 次の問題をとこう。(教科書P70)
 $\frac{3}{4}m$ の重さが $\frac{2}{5}kg$ の棒があります。
この棒1mの重さは何kgになるでしょうか。

(式) $\frac{2}{5} \div \frac{3}{4} = \frac{2 \times 4}{5 \times 3} = \frac{8}{15}$

長さ $\frac{3}{4}m$ (m) 重さ $\frac{2}{5}kg$ (kg)

(答え) $\frac{8}{15}kg$

○ 今日学習したことを、その日のうちに自主学習のノートにもまとめてみよう。算数の用語や学習をするうえで大切なところは、**朱書き**にしたり線を引いたりしよう。(用語は、意味を理解しながら覚えよう。)

○ 今日の学習のまとめ
分数を分数でわる計算では、わる数の逆数をかけます。

$\frac{b}{a} \div \frac{d}{c} = \frac{b}{a} \times \frac{c}{d}$

○ どうしてその式になるのか、その理由も考えながら立式をしよう。

○ **終わったら、自分で答え合わせとやりなおしをして先生にノートを提出しましょう。**

○ 学習したことを後で何度もふり返ることができるように、ノートはきれいにまとめておこう。分からなかったことは、納得がいくまで学校で先生に質問してみよう。



社会

ステップ1

- ① 教科書や副読本を声に出して読もう。[3回以上]
- ② 大事な言葉に線を引き、大事な図を線で囲もう。
- ③ 大事な言葉や図・グラフをノートに書き写そう。

ステップ2

- ① 授業で学んだことを、もう一度自分なりに整理してノートにまとめよう。
- ② カードを使って、大切なことをまとめよう。
- ③ テーマを決めて、調べたことをまとめよう。
- ④ 新聞記事を集めよう。
- ⑤ 家の人といっしょに体験してみよう。
(実際に自分で確かめてみよう。)



ノートの例

【ステップ1】

5年生…都道府県名とその位置, 6大陸3大洋, 日本を中心とした周辺の国々

6年生…教科書に出てくる歴史人物42名についてみよう
(人物名, 行ったこと, 活やくした時代など)



【ステップ2】

5年生…日本地図 [地勢図, 分布図など], 国土の広がり, 地形の特色,
気候の特色 [雨温図], 米の生産量・消費量 [グラフ], 食糧自給率,
漁業別生産量 [グラフ], 工業地帯と工業地域, 輸出入の割合変化 [グラフ]

6年生…各時代の様子 [イラスト], 歴史人物と年表, 政治のしくみ, 世界の中の日本 など

○ 地図で確認をしながら覚えよう。↓

○ 6大陸と3大洋

〔6大陸〕

- ・ユーラシア大陸
- ・アフリカ大陸
- ・オーストラリア大陸
- ・北アメリカ大陸
- ・南アメリカ大陸
- ・南極大陸

〔3大洋〕

- ・太平洋
- ・大西洋
- ・インド洋

○ 食料自給率とは
消費された食料のうち, 国内でつくられたものの割合

＜品目別の食料自給率＞

米	98%
野菜	73%
魚や貝	66%
大豆	21%
肉	15%
小麦	12%

☆日本の食料自給率の問題点

- ・日本の食料自給率は約37%と低い
- ・1965年には73%あった食料自給率は少しずつ下がっている。
- ・特に, 大豆や小麦は自給率が低く, ほとんどを輸入にたよっている。

○ 学習のまとめ

☆江戸幕府が行った鎖国までの流れをまとめよう。

年できごと

1612	キリスト教を禁止する。
1616	外国船の来航を長崎と平戸に限る。
1624	スペイン船の来航を禁止する。
1635	日本人の海外への渡航と海外からの帰国を禁止する。
1637	島原・天草一揆が起こる。
1639	ポルトガル船の来航を禁止する。
1641	平戸のオランダ商館を出島に移す。

○ 幕府は, 貿易の相手をキリスト教を信じるおそれのない中国とオランダの商人に限り, 貿易港も長崎(出島)だけとした。

○ 歴史用語は, 流れでおさえよう。

○ 地図・グラフ・表などを用いて, 学習したことをその日のうちに分かりやすく自主学習ノートに整理してみよう。ノートに整理することで, 学習した内容が自分のものになります。

○ テレビやラジオ, 新聞で話題になっている社会科の学習に関係することについては, 図書館の本やインターネットなどでくわしく調べてみよう。



理科

ステップ1

- ① 教科書に出てくる太字の大切な用語を覚えよう。
- ② 観察や実験のしかた、器具や薬品の名前、注意することなどを覚えよう。
- ③ 教科書の図などを、自主学習ノートに写し、説明も付け加えておこう。
- ④ 教科書の「まとめ」を自主学習ノートに視写しよう。
- ⑤ 理科のノートを見直し、書き足りないところは書き加え、きちんと整理しておこう。
- ⑥ 実物を見たり、生活の中で使われている物を探したりしよう。

ステップ2

- ① 教科書に出てくる大切な用語の意味を自分の言葉で書いてみよう。
- ② 教科書の「たしかめよう」や「学びをつなごう」をもう一度解いてみよう。
- ③ 授業で学習したことを、家庭でも確かめよう。
- ④ 理科の内容に関わる本や雑誌を読んでみよう。
- ⑤ 授業で疑問に思ったことを、図鑑やインターネットを利用して調べよう。
- ⑥ 学習したことが、生活の中のどこで生かされているか見つけよう。



ノートの例

① けんび鏡の使い方のまとめ

- ① 日光が直接当たらない明るいところに置く。(①)
- ② 対物レンズをいっばん低い倍率にして、接眼レンズをのぞき、明るく見えるように反し鏡の向きを変える。(②)
- ③ ステージの中央に観察するものがくるように置いて、クリップで止める。(③)
- ④ 横から見ながら調節ねじを回して、対物レンズとステージの間を近づける。(④)
- ⑤ 接眼レンズをのぞきながら調節ねじを回して、対物レンズとステージの間を遠ざけていき、はっきり見えたところで止める。(⑤)
- ⑥ 観察するものが小さいときには、倍率の高い対物レンズにかえる。対物レンズをかえたあとは、④と⑤とくり返して、はっきり見えるところで止める。



$$\text{接眼レンズの倍率} \times \text{対物レンズの倍率} = \text{けんび鏡の倍率}$$

- 理科の器具や薬品の使い方については、大事なところをしっかりと覚えておこう。
- 身近な生活の中にある理科を探してみよう。

- 学習した内容と身の回りにある理科とのつながりについても調べよう。

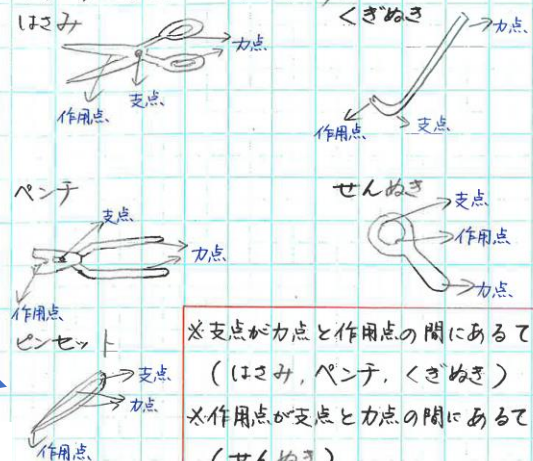


② たしかめよう (教科書P46)

- ・もののとけ方についてまとめよう。
- ① 物の水にとけてとうめいになった液を(水溶液)といいます。
- ② 食塩を水にとがしたあとの食塩の重さは、とがす前の食塩と水を合わせた重さと比べて、(同じ)になります。
- ③ 食塩が水にとける量は、水の(量)によって変わり、水の(温度)によってあまり変わりません。
- ④ ミョウバンが水にとける量は、水の(量)や(温度)によって変わります。
- ⑤ 食塩もミョウバンも、水にとける量には限度があり、その限度は食塩とミョウバンで(ちがいます)。

- 教科書をフルに活用して、単元のまとめを自分でもしてみよう。

③ 身の回りのてこについて調べよう。



- ※ 支点がカ点と作用点の間にあるてこ (はさみ, ペンチ, くぎぬき)
- ※ 作用点が支点とカ点の間にあるてこ (せんぬき)
- ※ カ点が支点と作用点の間にあるてこ (ピンセット)

ステップ1

- ① 教科書下段「脚注」の語句をノートに整理しよう。
 - 辞書を使って意味を調べよう。 ○ 似た意味の語句（類義語）を書こう。
 - 反対の意味の語句（対義語）を書こう。 ○ 短文を作ろう。
- ② 新出漢字一覧（教科書巻末）の漢字をノートに整理しよう。
- ③ 教科書を繰り返し音読しよう。

ステップ2

- ① 語句に関する学習は、ステップ1を参考に組み組もう。
- ② 各教材の末尾にある課題をノートにやってみよう。



【予習】

- 「学びの道しるべ」の課題について自分の考えをまとめよう。

【復習】

- 「学びを広げる」「学びを振り返る」の課題について自分の考えをまとめよう。
- 「学びを広げる」の問題に取り組み、先生に見てもらいましょう。
- 教科書巻末の「資料編」を読んで、学習したことをノートにまとめてみよう。

ノートの例

The image shows a page of handwritten Japanese notes. The notes are organized into columns and sections. On the left, there are notes about '新出漢字' (New Kanji) and '短文件' (Short Text). In the center, there are notes about '字のな' (Character's nature) and '折り返し' (Fold back). On the right, there are notes about '天体' (Celestial bodies) and '条件' (Conditions). The notes are written in blue ink on lined paper. There are several callouts in yellow boxes pointing to specific parts of the notes, containing instructions for students. At the bottom right, there is a cartoon character holding a book.

○ 教科書下段の「脚注」を活用し、出てきた語句を分かりやすく自学ノートにまとめよう。

○ 「学びの道しるべ」を参考にして、予習と復習に取り組んでみよう。

○ 教科書巻末の参考資料の中には、学習に役立つ内容がたくさん載っています。家庭学習の中でも積極的に活用してみてください。

○ これ以外に、「四字熟語」・「慣用句」・「ことわざ」・「故事成語」・「文法」等の学習もやってみよう。

数学

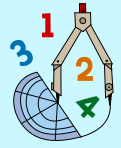
ステップ1

- ① 今日の授業を振り返ろう。
- ② 授業の例題を自分の力で解こう。
- ③ 自分の力を確かめるために、よく似た問題に挑戦しよう。



ステップ2

- ① 授業のポイントを、もう一度ノートにまとめ直そう。
- ② 発展問題に挑戦しよう。
- ③ 次の学習に興味をもち、予習をしよう。



ノートの例

① 1次方程式のまとめしよう。

- ① **方程式**... 式の中の文字に特別な値を代入したときに限って成り立つような等式を**方程式**という。また、方程式を成り立たせるような文字の値を、その方程式の**解**という。
- ② 1次方程式の解き方
 - (i) 分数や小数の**係数**は、両辺を何倍かして**整数**におおす。
 - (ii) x の項は**左辺**に、数の項は**右辺**に**移項**し、 $ax=b$ の形にする。
 - (iii) 両辺を x の係数 a でわって、 $x=\frac{b}{a}$
- ③ 比例式の性質
 $a:b=c:d$ ならば、 $ad=bc$..

② 連立方程式のまとめしよう。

- ① **連立方程式**... 2つ以上の方程式を組み合わせたものを連立方程式という。
- ② 連立方程式の解き方... 2つの方程式から、1つの文字を**消去**して1つの1次方程式をつくり、それを解いていく。
 - (i) **加減法**... x か y の係数の絶対値をそろえて、2つの式を \pm してひいたりする。
 - (ii) **代入法**... 一方の式から $x=\square$ か、 $y=\square$ をつくり、これをもう1つの式に代入する。
- ③ $A=B=C$ の形の連立方程式
 $\begin{cases} A=B \\ A=C \end{cases}$ $\begin{cases} A=B \\ B=C \end{cases}$ $\begin{cases} A=C \\ B=C \end{cases}$ のいずれかの形にして解いていく。



(発展問題) 教P65

現在、父親の年齢は子どもの年齢の3倍ですが、15年後には、父親の年齢が子どもの年齢の2倍になります。現在の父親と子どもの年齢を、それぞれ求めなさい。

父親の年齢を x 歳、子どもの年齢を y 歳としたとき

$$\begin{cases} x=3y \\ x+15=2(y+15) \end{cases}$$

代入法で求めると、

$$\begin{aligned} x &= 3y \\ 3y+15 &= 2y+30 \\ 3y-2y &= 30-15 \\ y &= 15 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} x &= 3y \\ x &= 3 \times 15 \\ x &= 45 \\ \text{A. 父親45歳, 子ども15歳} \end{aligned}$$

○ 学習した内容は、その日のうちに
自主学習でも振り返ってみよう。

(例題1) 教P108

次の方程式を解きなさい。

$$\frac{5}{6}x - 2 = \frac{1}{3}x$$

両辺に6をかけると、

$$\left(\frac{5}{6}x - 2\right) \times 6 = \frac{1}{3}x \times 6$$

$$5x - 12 = 2x$$

$$5x - 2x = 12$$

$$3x = 12$$

$$x = 4$$

<よく似た問題>

$$\frac{2}{3}x = \frac{1}{2}x - 7$$

両辺に6をかけると、

$$\frac{2}{3}x \times 6 = \left(\frac{1}{2}x - 7\right) \times 6$$

$$4x = 3x - 42$$

$$4x - 3x = -42$$

$$x = -42$$

○ 理解をより深めるために、例題によく似た問題を解いてみよう。

○ 数学的用語は、ただ教科書やノートを書き写すだけではなく、自分でもしっかりと説明することができるように考えながらまとめよう。

○ 教科書にも発展(応用)問題が載っています。巻末には解答も載っています。ぜひ活用してください。

○ 疑問に思ったことや解決できなかったことについては、学校で先生に分かるまで質問してみよう。



○ 終わったら、自分で答え合わせとやりなおしをして先生にノートを提出しよう。

社会

ステップ1

- ① 教科書の太字で表した「重要語句」や学習した「用語」を覚えよう。
- ② 「重要語句」や「用語」の意味や内容をまとめよう。

【ノートづくりの手順】



- 「重要語句」や授業で学習した「用語」をノートに書き写そう。
- 「重要語句」や「用語」の意味や説明が書かれている部分を教科書から探し、線を引こう。
- 線を引いた部分を、ノートに「できるだけ短い文」で書き写そう。

ステップ2

- ① 教科書の太字で表した「重要語句」や学習した「用語」を関連付けて理解しよう。
- ② 興味をもったことを、資料集やインターネットなどで進んで調べてみよう。

【ノートづくりの手順】



- 「重要語句」や授業で学習した「用語」を「表」や「図」にまとめよう。
- 資料集やインターネットなどで調べたことも書き加えると、さらに詳しい内容のノートになります。
- ノートに書いたことを、もう一度きれいに書き直してみよう。一度では覚えられないこともくり返し書くことで覚えやすくなります。

ノートの例

1. ヨーロッパ州のまとめ
 (1) ヨーロッパ州の自然と社会
 ④ 自然…北部…スカンディナビア山脈と**フヨルト**
 …中央部…ライン川、ドナウ川などの**国際河川**
 …南部…アルプス山脈、ピレネー山脈など
 高緯度のわりに比較的温暖
 (偏西風と北大西洋海流・暖流の影響)
 ⑤ 民族と宗教…キリスト教の信仰者が多い
 ゲルマン系(プロテスタント)・ラテン系(カトリック)・スラブ系(正教会)が主
 ⑥ ヨーロッパ連合…1993年、ECを母体に発足。商品・資本・労働力の移動が自由
 (EU)
 現在27か国が加盟、共通通貨はユーロ
 ⑦ EUの課題…加盟国間の経済格差と外国人労働者の流入問題



○ 大日本帝国憲法と日本国憲法

大日本帝国憲法(1890年11月29日施行)		日本国憲法(1947年5月3日施行)
君主が定める 欽定憲法	制定	国民が定める 民定憲法
天皇	主権者	国民
神聖な存在、国家の元首	天皇	日本国・日本国民統合の象徴
法律に基礎づけられた臣民としての 権利 (教育)・兵役・所得税	国民の権利	基本的人権と尊重
統帥権、徴兵制	国民の義務	普通教育を受けさせる義務・納税
天皇の 協賛(内閣)機関	国会	戦力放棄、戦犯不保持と交戦権の否認
内閣大臣は天皇と 輔弼(内閣)機関	内閣	国権の最高機関、唯一の立法機関
天皇の名において 裁判(行)	裁判所	行政を司る機関
		司法権の独立を保障

○ 今日学んだことを、自主学習ノートにも再度整理しながらまとめてみよう。

○ 教科書巻末には、社会科の用語集・歴史年表、その他社会科の単元全体の学習内容に関連するいろいろな資料や写真等も載っています。分からない言葉が出てきたら、その都度自分で調べるようにしよう。
 地理・公民(用語解説)・歴史(歴史年表他)

- まとめた学習をベースに、自分だけの一問一答形式の問題を作ってみよう。
- テレビやラジオ、新聞に出ている話題にも関心をもとう。



理科

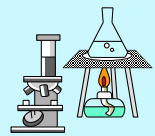
ステップ1

- ① 教科書を参考に理科ノートを見直し、学習したことを整理しよう。
- ② 観察・実験の方法を、ねらいと関連付けて理解しよう。
- ③ 教科書の太字（重要語句）をしっかりと覚えよう。
- ④ 観察・実験の器具や薬品名、注意事項なども覚えよう。
- ⑤ 基礎・基本を大切に、覚えるべきものはしっかりと書いて覚え、問題はできるまで何度も繰り返し練習しよう。
- ⑥ 学習した内容が、生活の中で活用されているところを見つけよう。



ステップ2

- ① 授業で使う理科ノートをもとに、自分だけのオリジナルノートを作ろう。
- ② 教科書の大切な図なども入れて、説明を書き加えよう。
- ③ 教科書の太字＝重要語句の説明を書こう。
- ④ 問題を解こう。
- ⑤ 間違えた問題については、理由やポイントを書きながら理解を深めよう。
- ⑥ 問題を解いた後、関連する内容も調べてみよう。
- ⑦ 理科の学習と日常生活とのつながりを考えよう。
- ⑧ さらに、学習内容に関連した疑問点について調べてみよう。学習内容と関連付けて考えてみよう。



ノートの例

○ 植物の分類について(まとめ)

1. 種子植物 … 花が咲き、種子をつける植物を**種子植物**という。
種子植物には、**被子植物**と**裸子植物**がある。

(1) 被子植物 … 胚珠が子房に包まれている植物を**被子植物**という。
(例) エドム、サクラ、イネ、ユリなど。

(2) 裸子植物 … 子房がなく、胚珠がむき出しになっている植物を**裸子植物**という。
(例) マツ、イチボウ、ソテツなど。

※ 大切 → 被子植物に子房があり、裸子植物には子房がない。

○ 学んだことをチェックしよう 教科P183

① 力学的エネルギー

1. 運動している物体がもっているエネルギーを**(運動)エネルギー**、高い位置にある物体がもっているエネルギーを**(位置)エネルギー**という。

2. 上記1.の2つのエネルギーの和を**(力学的)エネルギー**という。

② 仕事と力学的エネルギー

物体に8Nの力を加え、物体が力の向きに3m移動したときの**仕事**は何Jか。

仕事と求める式

$仕事(J) = 物体に加えた力(N) \times 力の向きに移動させた距離(m)$

(式) $8N \times 3m = 24J$ (答え) 24J

○ 今日学んだことを、自主学習ノートにも再度整理しながらまとめてみよう。

○ 「学んだことをチェックしよう」を活用して、学習したことの基礎・基本を振り返ろう。学んだことがしっかりと定着していることを確認するために、日々の自主学習でも積極的に取り組んでみよう。

○ 確かめと応用 P84

3 原子・分子

次のア～エは、物質の分子のモデルである。

ア イ ウ エ

H_2 NH_3 CO_2 O_2

① 二酸化炭素の分子モデルはア～エのどれか。
また、化学式も答えなさい。 (化学式: CO_2)

② 単体とは、どのようなものを「元素」という言葉を用いて簡単に説明しなさい。 (種類の元素からできている物質)

③ ア～エの物質を、単体と化合物に分けなさい。単体: ア、イ 化合物: ウ、エ

④ アとエの物質をつくる元素には、共通のものがある。その元素の名称を答えなさい。 (酸素)

○ テスト前は、単元末の「確かめと応用」を活用して学習内容の定着を図ろう。

- 日常生活の中から、理科の学習に関係するものをいろいろ探してみよう。
- 理科に関する最新のニュースにも興味・関心をもとう。



英語

ステップ1

1 ステップ1では、教科書をしっかり音読することから始めます。音読は非常に効果があります。読めないのに書いても効果は上がりません。「読むことができる」→「書くことができる」へと力を付けていきましょう。

- ① 繰り返し音読しよう。
- ② 書く練習を繰り返して、粘り強く少しずつ覚えよう。
- ③ 練習問題に取り組み、丁寧に答え合わせをして実力を付けよう。



ステップ2

2 ステップ2では、ステップ1で身に付けた語句や基本文をもとに、自分でオリジナル問題を解けるようにしましょう。

- ① 発音やイントネーションを意識して、暗唱できるまで音読しよう。
- ② 単語や文をテスト形式でチェックしよう。
- ③ 自分だけのオリジナルノートをつくろう。



ノートの例

New Words

・ **tightly** [taɪtli] ④ しっかりと
tight ④ ぎっしり 固い
tightly tightly tightly tightly tightly

・ **while** [hwaɪl] ④ しばらくの間
after a while しばらくして
while while while while while

・ **quietly** [kwaɪətli] ④ 静かに
quiet ④ 静かな
quietly quietly quietly quietly quietly

・ **rose** [rouz] ⇒ rise ④ 名詞
「rose」は動詞「rise」の過去形
rose rose rose rose rose rose

○ 新出単語は、発音や意味だけでなく、関連する単語も一緒に覚えよう。

○ 新出単語は、何度も繰り返し書いて覚えよう。

○ 現在完了形についてまとめよう。

完了 I **have** just **come** back. 「～したとすぐです」
私は、ちょうど戻ってきたところです。

※ よく使われる語句 already (すでに) yet (もう、まだ)

経験 I **have** often **danced** there. 「～したことがある」
私は、そこでしばしば踊ったことがあります。

※ よく使われる語句 sometime (とまどき), once (1回), ~times (～回), often (よく、しばしば) ever (今までに), never (一度もない)

継続 He **has been** sick since last Sunday. 過去のあつ時から現在まである状態が繰り返していることを表す。
彼は、この前の日曜日から病気です。

※ よく使われる語句 since (～以降), for (～の間), How long ~? (どれくらいの間)

○ 現在完了進行形についてまとめよう。

Yuki **has been** talking with her friend for more than thirty minutes.
ゆきは、30分以上ずっと友だちと話しています。

have (has) + been + 動詞のing形

※ 現在完了形(継続用法)は、状態の継続を表す。

※ 現在完了進行形は、あつ動作の継続していることを表す。

(現在完了形とはからい、完了用法と経験用法はない。)

- 今日学習した内容は、自主学習でその日のうちに振り返り、学んだことを分かりやすく整理しておこう。
- 学習したことを整理することをおして、知識の定着を図ります。
- 学習したことに関係する練習問題にも積極的にチャレンジしよう。

練習問題

○ 次の文中の()内の語句を適当な形に直しなさい。

1. How often have you (visit) the town?
→ How often have you visited the town?
2. She (not do) her homework yet.
→ She hasn't (has not) done homework yet.
3. They (go) to Tokyo four years ago.
→ They went to Tokyo four years ago.
4. My sister has been (sleep) for eight hours.
→ My sister has been sleeping for eight hours.

- まとめた学習を基にして作った自分だけのオリジナルノートで復習をしてみよう。
- テレビやラジオ、インターネットで配信される生の英語にも積極的に触れてみよう。



その他にも家庭で取り組んでほしいこと

★ 小学校1・2年生

- ① 生かつかの学しゅうをふりかえり、家で自分ができるしごとにチャレンジしてみよう。
- ② なわとびや鉄ぼうなど、自分にできる体力づくりにチャレンジしよう。
- ③ けんぱんハーモニカのれんしゅうをしたり、動しよく物のかんさつをしてみよう。
- ④ きょうみのある本やすきな本をたくさん読もう。
- ⑤ 地いきぎょうじにさんかして、地いきの人とのかかわりを深めよう。

★ 小学校3・4年生

- ① 社会や理科で勉強する地いき社会の文化や産業、自然にふれる体験をしよう。
- ② 音楽のリコーダーで習った曲の練習をしよう。
- ③ なわとびや鉄ぼうなど、体力づくりにチャレンジしよう。
- ④ きょうみのある本や好きな本をたくさん読もう。
- ⑤ 地いき行事に参加して、地いきの人との関わりを深めよう。

★ 小学校5・6年生

- ① 社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業、自然にふれる体験をしよう。
- ② 音楽のリコーダーで習った曲の練習をしよう。
- ③ なわとびや鉄ぼうなど、体力づくりにチャレンジしよう。
- ④ 興味のある本や好きな本をたくさん読もう。
- ⑤ 地域の行事やボランティア活動に参加して、地域の人との関わりを深めよう。

★ 中学校1・2・3年生

- ① 社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業、自然に触れる体験をしよう。
- ② いろいろな曲を聴き、好きな音楽の幅を広げよう。
- ③ 美術館・展覧会に出掛け、アートに触れよう。
- ④ 自分や人の命を大切にし、健康でたくましい体をつくろう。
- ⑤ 食生活に関心をもち、健康によい食習慣を身に付けよう。
- ⑥ 興味のある本や話題になっている本、好きな本をたくさん読もう。
- ⑦ 地域の行事やボランティア活動に参加して、地域の人との関わりを深めよう。

- かてい ちいき たいけんかつどう と く
- 家庭や地域で、いろいろな体験活動に取り組もう。

- じぶん けんこう かんしん たいりよく せっきよくてき と く
- 自分の健康に関心をもち、体力づくりに積極的に取り組もう。

- びじゅつさくひん かんしゅう じぶん びじゅつ ずがこうさく さくひん と く
- 美術作品を鑑賞し、自分でも美術（図画工作）の作品づくりに取り組もう。

- おんがく き じぶん がつき れんしゅう と く
- いろいろな音楽を聴き、自分でも楽器の練習に取り組もう。

- **社会に出たときの「生きる力」を家庭や地域で育もう。**

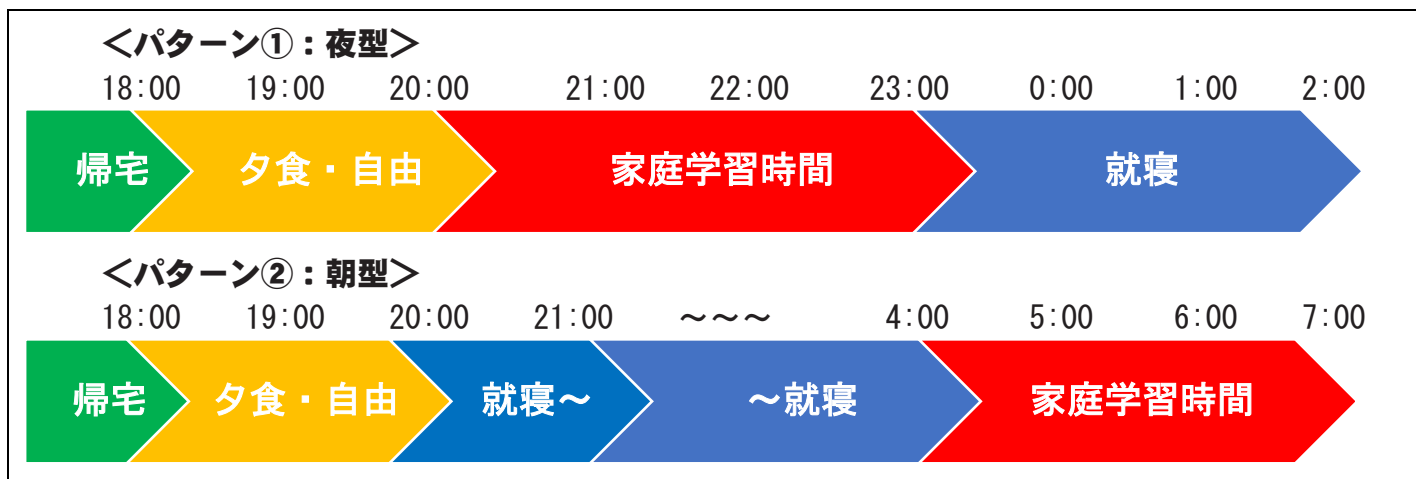


4 中学生の皆さんへ

【1日の生活スケジュール】

部活や習い事など、1日の大半を学校で過ごす中学生にとって、家に帰ってからの時間の使い方は大変重要です。自分に合った生活の仕方を考え、自分なりに工夫していきましょう。

※ 家庭での過ごし方の例



【1日の生活時間の中で120分（2時間）の学習時間をどう生み出していくか？】

「1日24時間」は、皆さん一人ひとりに平等に与えられた時間になります。学校で送る生活は、時間割表に基づいて規則正しく進んでいきますが、家庭で過ごす時間は、ある意味「自分の考え次第で自由に過ごすことができる時間」にもなります。だからこそ、与えられた貴重な時間を毎日有効に使っていくことがとても大切です。家庭での自分の過ごし方をしっかりと見つめ直し、自分に合った家庭学習の仕方を習慣化させていきましょう。

【中学生の保護者の皆様方へ】

- 中学生は、義務教育の集大成となる大切な時期です。中学3年間で、進路の決定はもちろんのこと、子供に応じた学習スタイルの確立が必要になります。小学生の時のように、常に寄り添うだけではなく、自立させるために、一人で頑張らせる部分と、傍にいて頑張りを認める部分をそれぞれ取り入れながら、子供の意欲を高めてあげてください。
- 将来の夢ややりたい職業について興味・関心が高まる時期です。家庭でも、将来のことや進路のことなど、子供と話し合ってみてください。保護者が自分の中学校時代を振り返り、昔の夢や目標について語ることも子供にとっては非常に貴重な時間となります。

【家庭学習の充実に向けて①】

1 家庭学習で「学ぶ力」を育てましょう！

小・中学校での学習は、子供たちが将来社会人として自立するための基礎となる「学ぶ力」を育てます。「学ぶ力」とは、「もっと調べてみたい」「もし…だと、これからはどうなるのだろう」「なぜ…なのだろう」などと、自分の中に生じた疑問を基にしながら、これまで学んできた知識を生かし、見通しをもって考える力のことです。この力は、学校の授業の中はもちろんのこと、家庭学習においても同時に育てていかなければならないものになります。そのようなことから、本市では「家庭学習40・60・90・120運動」の積極的推進を図っています。

これから先の世の中は、予測困難な時代が待ち構えています。人生の中で、どんなに困難なことがあっても決してくじけることなく、何事にも積極的にチャレンジしようとする人材の育成が望まれています。毎日の家庭学習の習慣を身に付けさせることで、子供の主体性や自律性を伸ばし、目標をもって人生を心豊かに生きる力につなげていき、子供たち自身の将来への大きな財産となるようにしていくことが今強く求められています。

枕崎市の子供たちの家庭学習が、今後さらに充実していくために、この冊子が積極的に活用されることを願っています。

※ 家庭教育手帳を活用する場として → 家庭教育学級・全校PTA・学級PTA

※ 枕崎市ホームページにも、この家庭教育手帳のデータをアップしています。スマートフォンやタブレット、パソコンでもご覧ください。

2 家庭を「学び」の環境に！

子供が進んで学ぼうとする力は、「一番安心できる家庭」「安定した生活リズム」「毎日の学習の積み重ね」の中で身に付いていきます。また、子供は、家族に認められ励まされることを多く経験する中で、「がんばってよかった」という充足感や「見守られている」という安心感を得ることができます。子供たちが日々努力を続けていく中で、自分にもっと自信をもつことができるように、学校と家庭がお互いに協力し合い、子供の「学ぶ力」を育てていく必要があります。

- * 家庭（保護者）と学校（教師）が、家庭学習の習慣化を目指して互いに協力し合うことで、子供のやる気を促し、「学ぶ力」を育みます。
- * 子供の家庭学習が充実するように、学びの環境を整え、家族の温かいふれあいを増やしていきましょう。

（そのために）「家庭や学校が心がけること」

【家庭の役目】

- ☆ 生活リズムを整え、決まった場所と時間で、学習に集中できる環境を整える。
- ☆ がんばりを認め、励ましと家族間の対話のある温かいふれあいの場をつくる。

【学校の役目】

- ☆ 基礎学力を付け、学び方を教え、主体性を育てる学習指導の推進を図る。
- ☆ 子供のよさを生かした家庭学習の提案を図る。

【家庭学習の充実に向けて②】

3 家庭学習って何？

家庭学習では、宿題だけでなく自主学習もします。

- ◎ **宿題** → 学校から出される必ずしなければならない課題です。主に「読む」「書く」「計算」などの基礎学力を身に付けることをめざします。
- ◎ **自主学習** → 自分で課題を見つけ、それを基にして自分自身で進めていく学習です。自分自身で物事を追求することをおして、思考力や表現力など、未来の社会人として必要な力が身に付くことをめざします。

〈家庭学習で取り組む自主学習の進め方の例〉

- 国語 → 漢字や言葉の意味調べ・視写・日記・音読
- 算数・数学 → 計算練習・公式を覚える・問題作り
- 社会・理科・総合 → 用語など授業で学習したことをまとめる
- 家庭・体育・図工 → 学習したことを家庭でも実際に試す
- 英語 → アルファベット・単語・基本文型を声に出しながら書いて覚える音読・基本文型を使った作文や会話文作り

※ その他

- 市販のドリルや問題集の問題を解く。 ● テストのやり直しをする。 → 【全ての教科】
- 一人一台のタブレット端末を活用して、AIドリル等に取り組む。(ICT機器の活用)
- テレビの教育番組や英語番組などを視聴する。etc.

4 家庭学習で身に付く力って？

基礎学力が確実に身に付くだけでなく、自分で学習する時間をつくり出そうとする態度が「考える力」や「表現する力」、そして、見えない学力（「意欲」「自分をコントロールする力」「生活リズムを整える力」「自己決定力」「集中力」「課題発見力」「課題解決力」「豊かな自尊感情」）となって、自分自身を高めていきます。これらの力は、毎日こつこつと努力する繰り返しの中で自然に身に付いていきます。そして、この力は社会人となったときに力強く生きていくために必要な力にもなっていきます。

5 家庭学習の内容の確認を！

この家庭教育手帳に、発達段階に応じた家庭学習の参考例を載せています。それを基に意欲的に学習を進めていくことが大切です。また、子供が学習に取り組んだ内容については、必ず家庭でも目を通していただくとありがたいです。子供たちは、家族や教師のアドバイスを励みにして、次の学習にも意欲的に取り組むようになります。

～ 家庭学習の内容の確認のポイント ～

- ① 丁寧な字で書き、文章などの誤字や脱字はないか。計算などのまちがいはないか。
- ② 学習した内容が、復習や予習などの中身のあるものになっているか。
- ③ 学習した内容が、自分のものになっているか。(学習したことを質問してみる。)

【家庭学習の充実に向けて③】

6 枕崎市内の小・中学生の学習の様子について！（令和3年度と令和4年度の調査結果より）

家庭での過ごし方に関するアンケート結果より

令和3年度と令和4年度に、枕崎市の全小・中学校の児童生徒を対象に行った家庭での過ごし方に関するアンケートの調査結果です。

（1）1日当たりの家庭学習時間の目標達成率

令和3年 7月	小1・2年 (63) %	小3・4年 (46) %	小5・6年 (23) %	中全学年 (27) %
令和3年12月	小1・2年 (75) %	小3・4年 (53) %	小5・6年 (25) %	中全学年 (31) %
令和4年 7月	小1・2年 (67) %	小3・4年 (43) %	小5・6年 (29) %	中全学年 (27) %
令和4年12月	小1・2年 (73) %	小3・4年 (45) %	小5・6年 (24) %	中全学年 (25) %

- 本市では、学年に応じた家庭学習の時間の確保「40・60・90・120（分）運動」を呼びかけています。家庭での手伝い・習い事・スポーツ少年団・部活動・遊び等があり、家庭学習の時間を確保することが難しいところもあると思いますが、時間の使い方を改めて見直し、一日の生活の中に家庭学習の時間をしっかりと位置付けさせていくことが大切です。

（2）自主学習に取り組んでいる子供の割合

令和3年 7月	小1・2年 (30) %	小3・4年 (24) %	小5・6年 (29) %	中全学年 (56) %
令和3年12月	小1・2年 (28) %	小3・4年 (23) %	小5・6年 (24) %	中全学年 (46) %
令和4年 7月	小1・2年 (22) %	小3・4年 (23) %	小5・6年 (34) %	中全学年 (49) %
令和4年12月	小1・2年 (22) %	小3・4年 (21) %	小5・6年 (20) %	中全学年 (44) %

- 小学生の自主学習の取組状況については、令和3年度・令和4年度ともに全体的に低い傾向にあります。家庭学習が、宿題に取り組むだけになっていないでしょうか。「自学ノート」を使った学習については、「まくらざき家庭教育手帳」や各学校で紹介されている「学びの手引き」などを参考にしながら、家庭でも子供たちと一緒に確認をしてみてください。

（3）自分から「メディアコントロール」に取り組んでいる割合

令和3年 7月	小1・2年 (70) %	小3・4年 (59) %	小5・6年 (50) %	中全学年 (42) %
令和3年12月	小1・2年 (65) %	小3・4年 (57) %	小5・6年 (55) %	中全学年 (39) %
令和4年 7月	小1・2年 (66) %	小3・4年 (56) %	小5・6年 (49) %	中全学年 (42) %
令和4年12月	小1・2年 (64) %	小3・4年 (51) %	小5・6年 (47) %	中全学年 (39) %

- アンケート調査の結果から、「メディアコントロール」に進んで取り組んでいる子供の割合は、学年が上がるごとに低くなっている傾向にあることが分かります。ゲームやインターネット上にあるいろいろな情報は、「その次をしたい、その次を観たい」という仕掛けがたくさんされています。だからこそ、未来を生きる今の子供たちに「自分自身でメディア機器の使用をセルフコントロール」することの大切さについて繰り返し呼びかけていく必要があります。

※ **コロナ禍により、「メディア機器」触れる時間が長くなっていませんか？**

「メディア機器」に触れる時間を、セルフコントロールできるようにしていきましょう。



1 週間の生活リズムチェックシート

1 学期

計画的に進められるようにしましょう!!



チャレンジ! ノーゲーム・メディアコントロール

< 枕崎市全体の目標 >

○ 「インターネット接続機器の使用は、夜9時まで」

○ 「それそれの家の目標」

日付	チャレンジ! 家庭学習		チャレンジ! 家読		チャレンジ! ノーゲーム・ メディア コントロール
	学習した時間	時間(分) 目標時間: 1日()分	学習したこと	読書時間(分) 目標時間: 1日()分	
月 日 ()	分	20 40 60 80 100 120	■ 宿題 () ■ 明日の予習 () ■ 今日の復習 () ■ その他 ()	10 20 30 40 50 60 読んだ本	守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった
月 日 ()	分		■ 宿題 () ■ 明日の予習 () ■ 今日の復習 () ■ その他 ()		守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった
月 日 ()	分		■ 宿題 () ■ 明日の予習 () ■ 今日の復習 () ■ その他 ()		守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった
月 日 ()	分		■ 宿題 () ■ 明日の予習 () ■ 今日の復習 () ■ その他 ()		守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった
月 日 ()	分		■ 宿題 () ■ 明日の予習 () ■ 今日の復習 () ■ その他 ()		守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった
月 日 ()	分		■ 宿題 () ■ 明日の予習 () ■ 今日の復習 () ■ その他 ()		守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった 守れた・守れなかった

< 一週間の振り返りかえって一言 >

< 家族の方から一言 >

書いてみよう②! 「一週間の生活リズムチェックシート」

小学生は「家庭学習強調週間」、中学生は「テスト期間」に合わせて、学期に一回、家での過ごし方をチェックしてみよう。一週間の生活のリズムを調べたら、家族で振り返ってみよう。

1 週間の生活リズムチェックシート

がっ き
2 学期



計画的に進められるようにしましょう!!

チャレンジ！ノーメディア・メディアコントロール

< 枕崎市全体の目標 >

○ 「インターネット接続機器の使用は、夜9時まで」

○ 「それぞれの家の目標」

書いてみよう②！ 「一週間の生活リズムチェックシート」

小学生は「家庭学習強調週間」、中学生は「テスト期間」に合わせて、学期に一回、家での過ごし方をチェックしてみよう。一週間の生活のリズムを調べたら、家族で振り返ってみよう。

日付	チャレンジ！家庭学習				チャレンジ！家読		チャレンジ！ ノーメディア メディア コントロール
	目標時間：1日()分				目標時間：1日()分		
	学習した時間	時間(分)	学習したこと		読書時間(分)	読んだ本	
月 日 ()	分	20 40 60 80 100 120	<input type="checkbox"/> 宿題 () ■ 明日の予習 () <input type="checkbox"/> 今日の復習 () ■ その他 ()		10 20 30 40 50 60		守れた・守れなかった
月 日 ()	分		<input type="checkbox"/> 宿題 () ■ 明日の予習 () <input type="checkbox"/> 今日の復習 () ■ その他 ()				守れた・守れなかった
月 日 ()	分		<input type="checkbox"/> 宿題 () ■ 明日の予習 () <input type="checkbox"/> 今日の復習 () ■ その他 ()				守れた・守れなかった
月 日 ()	分		<input type="checkbox"/> 宿題 () ■ 明日の予習 () <input type="checkbox"/> 今日の復習 () ■ その他 ()				守れた・守れなかった
月 日 ()	分		<input type="checkbox"/> 宿題 () ■ 明日の予習 () <input type="checkbox"/> 今日の復習 () ■ その他 ()				守れた・守れなかった
月 日 ()	分		<input type="checkbox"/> 宿題 () ■ 明日の予習 () <input type="checkbox"/> 今日の復習 () ■ その他 ()				守れた・守れなかった
月 日 ()	分		<input type="checkbox"/> 宿題 () ■ 明日の予習 () <input type="checkbox"/> 今日の復習 () ■ その他 ()				守れた・守れなかった

< 一週間をふりかえって一言 >

< 家族の方から一言 >

1週間の生活リズムチェックシート

3学期

計画的に進められるようにしましょう!!

チャレンジ! ノータイア・メディアコントロール

< 枕崎市全体の目標 >

○ 「インターネット接続機器の使用は、夜9時まで」

○ < それぞれの家の目標 >



書いてみよう②! 「1週間の生活リズムチェックシート」

小学生は「家庭学習強調週間」、中学生は「テスト期間」に合わせて、学期に一回、家での過ごし方をチェックしてみよう。一週間の生活のリズムを調べたら、家族で振り返ってみよう。

日付	チャレンジ! 家庭学習		チャレンジ! 家読		チャレンジ! ノーメディアコントロール
	学習した時間	目標時間: 1日 () 分	読書時間 (分)	目標時間: 1日 () 分	
月 日 ()	分	20 40 60 80 100 120	10 20 30 40 50 60		守れた・守れなかった
月 日 ()	分				守れた・守れなかった
月 日 ()	分				守れた・守れなかった
月 日 ()	分				守れた・守れなかった
月 日 ()	分				守れた・守れなかった
月 日 ()	分				守れた・守れなかった
月 日 ()	分				守れた・守れなかった

< 一週間の振り返りかえって一言 >

< 家族の方から一言 >

○ 本に親しもう ～いつも身近に一冊の本を～

「1日20分読書」に取り組もう！

読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにします。また、人生を豊かなものにし、より深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものです。

<子供の発達段階に応じた読書活動>

乳幼児	家族と一緒に20分	読み聞かせなど、家族の協力が必要です。家族一緒に読書の習慣をつくりましょう。
小学生	朝読み夕読み20分	言葉や文章の意味を考えながら音読することが大切です。朝や夕方の音読を続けましょう。
中学生	ジャンルを広げて20分	読書の幅を広げることが大切です。文学・科学・歴史・郷土など、様々なジャンルの本に幅を広げて読んでみましょう。
高校生	自分を見つめる20分	自分自身の生き方を見つめるためにも読書が大切です。いつも身近に本を置き、1日20分の読書に心掛けましょう。

目標を決めて「1日20分読書」に取り組みましょう！

例：「日曜日の夕食後は、家族みんなで必ず読書をする」「様々なジャンルの本を読む」など

<我が家の目標>

【読書のお悩みQ&A】

Q： 家庭で読書の習慣を身に付けるにはどうすればいいでしょうか。

A： 家族全員で本を読む習慣を定着させていくことが必要です。そのためには、テレビを消して読み聞かせをしたり、家族で好きな本を読んで読んだ本について話し合ったりしてみましょう。



《枕崎市立図書館の紹介》

枕崎市では、本を身近に感じられる環境づくりをめざしています。本館だけでなく、市内 8 か所（金山・桜山・立神・枕崎・別府の各地区公民館，健康センター，片平山児童センター，児童館）に，配本所を設置してあります。予約・リクエスト（返却の連絡・購入希望リクエスト・他の図書館から貸出）やレファレンスサービス（調べ物の手伝い）なども行っています。

■貸出冊数：一人 5 冊 ■貸出期間：14 日間

■開館時間：午前 9 時 30 分から午後 6 時まで

■休館日：毎週月曜日，毎月第 4 木曜日，年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

■Tel./Fax：72-9254

<催し物やイベント>

- ① おはなしの部屋：幼児・小学生低学年対象，毎月 23 日午後 3 時から絵本の読み聞かせや紙芝居等を実施
- ② わくワーククラブ：返本，書架整理，館内ディスプレイ作成等の手伝い（年 10 回）
対象：小学校 4 年生から高校生まで
- ③ ふれあい図書館まつり：「読書講演会」，「おはなしの部屋」での読み聞かせなど
- ④ テーマ展示：季節に応じたテーマの本を展示（例：新一年生にすすめる本展，高齢者にすすめる本展，クリスマス絵本展他）
- ⑤ 読書感想文コンクール：読書週間に読書感想文を募集
特選・入選作品の文集を発刊



【知っていますか】

○ 4月23日は「子ども読書の日」

「子どもの読書活動の推進に関する法律」で，定められています。

○ 毎月23日は「子どもといっしょに読書の日」

年間を通じて子供と大人が一緒になって本を読む機会を設け，地域全体で読書活動を推進する気運を高めるために，鹿児島県図書館協会が推進しています。



小学校1・2年生に読んでほしい本



大きい1年生と
小さな2年生
古田 足日 さく
中山 正美 え
偕成社



おおきなおおきな
おいも
赤羽 末吉 さく・え
福音館書店



おおきな木
Jill Sorell アスタイン 作
村上 春樹 訳
あすなる書房



●おしゃべりなたまごやき
寺村 輝夫 作
長 新太 画
福音館書店



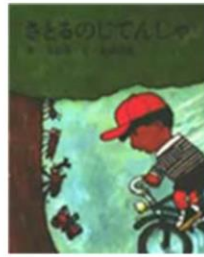
かたあしだちょうの
エルフ
おのき かく 文・絵
ポプラ社



かわいそうなぞう
つちや ゆきお 文
たけべ もといちろう 絵
金の星社



けんかのきもち
柴田 愛子 文
伊藤 秀男 絵
ポプラ社



さとらのじてんしゃ
大石 真 作
北田 卓史 絵
小峰書店



しんせつなともだち
方 軼羣 作
君島 久子 訳
村山 知義 画
福音館書店



●だるまちゃんどてんくちゃん
加古 里子 作・絵
福音館書店



ちいさいおうち
バーグ・アラー・バートン 文・絵
石井 桃子 訳
岩波書店



手ぶくろを買いに
新美 南吉 作
黒井 健 絵
偕成社



だるまこぶた
アーノルド・ローベル 作
岸田 衿子 訳
文化出版局



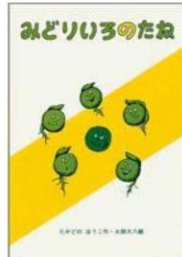
10までかぞえられるこやぎ
アルフ・プリョイセン 作
林 明子 絵
山内 清子 訳
福音館書店



ふゆめがっしょうだん
富成 忠夫、茂木 透 写真
長 新太 文
福音館書店



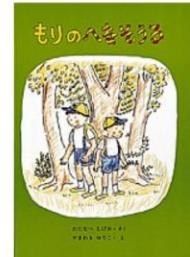
ふらいばんじいさん
神沢 利子 作
堀内 誠一 絵
あかね書房



みどりいろのたね
たかどの ほうこ 作
太田 大八 絵
福音館書店



ももいろのきりん
中川 李枝子 さく
中川 宗弥 え
福音館書店



もりのへなそうる
わたなべ しげお さく
やまわき ゆりこ え
福音館書店

小学校3・4年生に読んでほしい本



●あらしのよびに
きむら ゆういち 作
あべ 弘士 絵
講談社



いのちをいただく
内田 美智子 文
諸江 和美 絵
佐藤 剛史 監修
西日本新聞社



●エルマーのぼうげん
ルース・スタイル・ガネット さく
ルース・クリマン・ガネット え
わたなべ しげお やく
福音館書店



おいたのぼうし
あまん きみこ 文
いわさき ちひろ 絵
ポプラ社



●おまえうまそうだな
宮西 達也 作・絵
ポプラ社



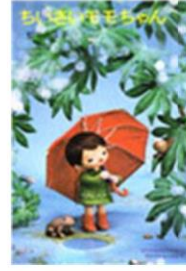
●車のいろは空のいろ
白いぼうし
あまん きみこ 作
北田 卓史 絵
ポプラ社



ケンムン・ケンとあそんだ海
山下 明生 作
梶山 俊夫 絵
大日本図書



すみれ島
今西 祐行 文
松永 禎郎 絵
偕成社



●ちいさいももちゃん
松谷 みよ子 著
菊池 貞雄 絵
講談社



チョコレート戦争
大石 真 作
北田 卓史 絵
理論社



つみきのいえ
加藤 久仁生 絵
平田 研也 文
白泉社



つりばしわたれ
長崎 源之助 作
鈴木 義治 絵
岩崎書店



てつがくの
ライオン
工藤 直子 詩
佐野 洋子 絵
理論社



でんでんむしのかなしみ
新美 南吉 作
かみや しん 絵
大日本図書



としょかんライオン
ミシェル・ヌードセン さく
ケビン・ホークス え
福本 友美子 やく
岩崎書店



トンちゃんって
そういうネコ
MAYA MAXX 著
角川書店



花さき山
斎藤 隆介 作
滝平 二郎 絵
岩崎書店



●ふしぎなかぎばあさん
手島 悠介 作
岡本 颯子 絵
岩崎書店



ふたにく
大西 暢夫 写真・文
幻冬舎 デュケツソ



●ルドルフとイッパ イッテ
斎藤 洋 作
杉浦 範茂 絵
講談社



わすれられない
おくりもの
スザン・バーレイ さく・え
小川 仁央 やく
評論社

小学校5・6年生に読んでほしい本



●赤毛のアン
モンゴメリ 作
村岡 花子 訳
ポプラ社



●あしながおじさん
ウェブスター 作
恩地 三保子 訳
偕成社



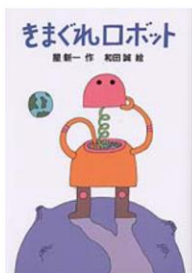
●シート動物記 材が王味
アーネト・T・シート 文・絵
今泉 吉晴 訳・解説
童心社



からすたろう
やしまたろう 文・絵
偕成社



きいちゃん
山元 加津子 著
多田 順 絵
アリス館



まぐれロボット
星 新一 作
和田 誠 絵
理論社



銀河鉄道の夜
宮沢賢治童話集
宮沢 賢治 作
偕成社



●シャーロックホームズ 全集1
緋色の研究
コナン・ドイル 著
各務 三郎 訳
偕成社



●瀬戸内少年野球団
上 中下
阿久 悠 著
金の星社



宝島
ロバート・ルイス・スティーヴンソン 作
金原 瑞人 訳
偕成社



チョコレート工場の秘密
ロアルド・ダール 著
ケンティン・ブレイク 絵
柳瀬 尚紀 訳
評論社



●ドリトル先生マジック
ヒュー・O・オツツク 作
井伏 鱒二 訳
岩波書店



ハッピーバースデー
青木 和雄, 吉富 多美 作
加藤 美紀 画
金の星社



100万回生きたねこ
佐野 洋子 作・絵
講談社



●完訳ファブル昆虫記
第1巻 上下
ジャック・アリ・ファブル 著
奥本 大三郎 訳
集英社



●魔女の宅急便
角野 栄子 作
林 明子 絵
福音館書店



モモ
ミヒャエル・エンデ 作
大島 かおり 訳
岩波書店



●アラビヤ物語 リバと魔女
C.S.ルイス 作
瀬田 貞二 訳
岩波書店



●床下の小人たち
マリ・ペール 作
林 容吉 訳
岩波書店



わたしのいもうと
松谷 みよ子 文
味戸 ケイコ 絵
偕成社

中学生に読んでほしい本



●オリエント急行の殺人
アガサ・クリスティー 著
山本 やよい 訳
早川書房



カラフル
森 絵都 作
講談社



君たちはどう生きるか
吉野 源三郎 著
ポプラ社



●ゲド戦記 I
影との戦い
ルグウィン 著
清水 真砂子 訳
岩波書店



賢者の贈りもの
O・ヘンリ短編集 (二)
O・ヘンリ 著
大久保 康雄 訳
新潮社



五体不満足
乙武 洋匡 著
講談社



西遊記
吳 承恩 著
君島 久子 訳
講談社



●三国志 1 桃園の誓い
小前 亮文 著
中山 けいしよ 画
理論社



三銃士 上 下
アレクサンドル・デュマ 著
生島 遼一 訳
岩波書店



はじめての文学 重松清
重松 清 著
文藝春秋



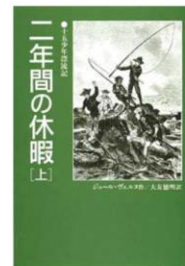
杜子春・くもの糸
芥川 龍之介 著
偕成社



夏の庭
-The Friends-
湯本 香樹実 作
徳間書店



二十四の瞳
壺井 栄 著
武部 本一郎 画
壺井 繁治、松尾 不二夫 解説
金の星社



二年間の休暇 上 下
ジュール・ヴェルヌ 著
大友 徳明 訳
偕成社



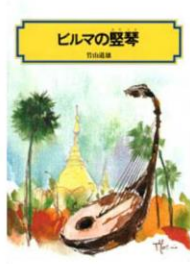
走れメロス
太宰 治 作
村上 豊 絵
講談社



葉っぱのフレディ
レオ・バスカーリア 作
みらい なな 訳
島田 光雄 画
童話屋



ピーター流
生き方のすすめ
ピーター・フランク 著
岩波書店



ビルマの豎琴
竹山 道雄 作
偕成社



星の王子さま
サン・テグジュペリ 作
内藤 濯 訳
岩波書店



レ・ミゼラブル 上 下
ヴィクトル・ユゴー 作
清水 正和 編・訳
福音館書店

とう おか はら こう
「アンボン島の丘に ～ 原 耕 ～」

まくらざき みなみ せん あま せきどう すこ こ
枕崎から、南に4千キロメートル余り、赤道を少し越えたところにインドネシアのアンボン島があります。ここの丘の上と坊津の輝津館、枕崎港を望む松之尾公園、枕崎の外港にある原公園の4カ所に「枕崎カツオ漁業の父」と言われる原耕の銅像があります。どの像も、海に向かって夢を語りかけるように建っています。

ねん めいじ ねん はらこう となりまち ぼうのつ りょうし いえ う さい とき いしゃ
1884年（明治17年）、原耕は隣町の坊津のカツオ漁師の家で生まれ、15歳の時に医者になるため大阪高等医学校（今の大阪大学医学部）へ進学し、卒業後神戸の病院に勤めました。その後、アメリカやカナダでも見聞を広め、枕崎に帰ってきて自分の病院を建てました。耕の外科手術の腕前は素晴らしく、鹿児島県内のたくさんの医者が見学に来るほどでした。

ぎよぎょう ふ たいふう おお そうなん つづ お
そのころカツオ漁業はあまり振るわなくなっており、台風による大きな遭難も続いて起こり、父親の漁業会社は倒産してしまいました。耕は、責任を感じて苦しんでいる父の姿や、遭難した乗組員の家族が嘆き悲しむ様子を見て、どうにかして遭難を防ぎ、漁民を救わなければならないという考えが強くなっていきました。そこで、自分の病院の方は女医である千代子夫人に任せ、枕崎のカツオ漁業を立て直そうと決心したのです。

あんしん ぎよじょう い
「安心してカツオがたくさんいる漁場に行けたら、みんなうれしいだろう。」

こう さつそく まくらざき ぞうせんじょ けんせつ かぜ ちから はし はんせん はつどうき はし
耕は早速、枕崎に造船所を建設して、これまでの風の力で走る帆船から、発動機で走る大型船の建造に取りかかりました。

ねん たいしょう ねん けんきゅう くふう かさ けっか おも けんかいち おおがたせん かんせい
1925年（大正14年）、研究と工夫を重ねた結果、重さ90トンの県下最大の大型船を完成させ、日々苦勞をかけている千代子夫人への感謝の気持ちを込めて「千代丸」と命名しました。

やま ふね つく もと と
「山んよなふつとか船を造って、元が取るっどかい。」

と、あざけり笑う人もいましたが、千代丸に乗って、これまで行けなかった沖縄の近くの海まで行き、多くのカツオを獲って帰ってきたのです。そのことにびっくりした他のカツオ漁師の人たちも、次々に船を大型化させていきました。しかし、この時、耕の視線はすでに新しい漁場の開拓に注がれていたのです。

耕が新しいカツオの漁場として選んだ南太平洋の海は、浅瀬や早瀬も多く、大型のサメなども多い危険な海域でもありました。赤道近くの島の近海を航海していた時、岩礁が多いことが分かっていたので、減速し、注意しながら進んでいたのですが、突然、

「ガガガガーツ。」

と千代丸が浅瀬に乗り上げてしまったことがありました。この場所は、とてもサメの多い海域だったのですが、その時、耕は、すぐに小型船を降ろすように言い、それから、

「水中めがねをやれ。」

と声をかけて、自ら夕やみ迫るうす暗い海中に飛び込んでいったのです。そして、二度三度と船の底を潜って調べると、

「大丈夫じゃ。スクリューはいけんもなっちょらん。」

と声を飛ばしてきたのでした。乗組員がほっと安心したのは言うまでもありません。この時、耕は51歳。その行動はどの若手もまねのできない、責任感あふれる素早いものでした。

耕は、幾多の困難を乗り越え、日本からはるか遠いフィリピンやボルネオ、ニューギニアという南方の漁場開拓に乗り出し、インドネシアのアンボン島では、現地でカツオを加工する

ため、鰹節工場やかんづめ工場、製氷工場などを備えた遠洋漁業の基地づくりを始め

ました。その一方で耕は、貧しくて病院に通うことのできない島の住民たちに対し無料で治療して、大変感謝されていました。

ねん しょうわ ねん こう あたら つく だい だい ちよまる かいめ こうかい で
1932年（昭和7年），耕は新しく造った第2・第3千代丸とともに3回目の航海に出かけ

ほんかくてき じぎょう はじ にほん で かげつ こう きゅうせい
ました。これからが本格的な事業の始まりです。ところが日本を出てから9カ月，耕は急性

し き せま こう
マラリアにかかってしまいました。死期が迫った耕は，

し みなと おか う
「おいが死んだら，このアンボンの港の丘に埋めてくれ。」

い のこ
と言に残しました。

ゆめ とお なんよう どう はんえい ひとびと しあわ つよ ねが きょうど
夢をかけた遠い南洋のアンボン島で，ふるさとの繁栄と人々の幸せを強く願い，郷土の

さんぎょう ぎょぎょう かいはつ じょうねつ かたむ ねん こう な
産業であるカツオ漁業の開発に情熱を傾けてきた58年。まさに「耕」という名のお

なんよう ぎょじょう たがや しんてんち き ひら ちょうせん いっしょう
り，南洋の漁場を耕し，新天地を切り拓いた挑戦の一生でした。

こう し ご なんよう じょうほう すいろしりょう けんきゅう かいず まくらざき いえ ほんとう
耕の死後，南洋の情報や水路資料，研究された海図など，枕崎の家には本当にたくさ

しりょう のこ
んの資料が残されていたそうです。



ちよまる しんすいしき ようす
千代丸の進水式の様子



はらこうえん がいこう た はらこう どうぞう
原公園（外港）に建つ原耕の銅像

まくらざき りょう れきし がっこう し としょかん くわ しら
○ 枕崎のカツオ漁の歴史について，学校や市の図書館で詳しく調べてみよう。

うち ひと いっしょ はらこう いっしょう くわ しら
○ お家の人と一緒に，原耕の一生について詳しく調べてみよう。

みしまむら 　くろしま 　まくらざき
1 三島村（黒島）と枕崎のつながり

みしま 　いおうじま 　いおうざん 　かつかざん 　むかし 　しま 　いおう 　さいくつ
三島にある硫黄島には硫黄山という活火山があります。昔，この島で硫黄を採掘し，それ
まくらざき 　はこ 　いおう 　こくしょくかやく 　ほか 　やくひん 　げんりょう
を枕崎まで運んでいました。硫黄は，黒色火薬やその他にもいろいろな薬品の原料とし
もち 　みんこく 　ちゅうごく 　むかし 　こくめい 　ほうえきひん 　しまづし 　じゅうよう 　ざいげん
て用いられ，明国（中国の昔の国名）との貿易品として島津氏の重要な財源となつて
とうじ 　かごよ 　まくらざき 　こみなと 　いおう 　いちだいしゅうせきち
いました。当時，鹿籠と呼ばれていた枕崎の小湊は，硫黄の一大集積地となつており，そ
いおうざき 　ちめい 　のこ 　ちか 　めいじ 　ねん 　ふ 　あ 　はいぶつ
こには硫黄崎という地名も残っています。また，その近くには，明治2年に吹き荒れた廃仏
きしゃく 　ぶつきょう 　はいせき 　てら 　ぶつぞう 　こわ 　はいじ 　いわさきでら 　あと
毀釈（仏教を排斥し，寺や仏像などを壊すこと）によって廃寺となつた「岩崎寺」跡が
てら 　せいしき 　なまえ 　いおうざんいわさきでら
ありますが，そのお寺の正式な名前は「硫黄山岩崎寺」でした。

くろしま 　みしま 　なか 　しい 　かし 　たぶ 　しょうようじゆりん 　おお 　とおめ 　くろ 　み
黒島は，三島の中でも椎・榎・楠といった照葉樹林が多く，遠目に黒っぽく見えたこと
くろしま 　よ 　みづか 　しおてばな 　びやくいかんのんぞう 　せいさく
から黒島と呼ばれるようになったといわれています。自ら塩手鼻の白衣観音像を制作し，
くろしま 　こうりゅうじぎょう 　しょうわ 　ねん 　かいし 　とうじ 　しちょうたしろきよひでし 　はなし 　ひと 　て 　そだ
黒島との交流事業を昭和56年から開始した当時の市長田代清英氏の話では，人の手で育
ぎじゆつ 　かくりつ 　まえ 　しいたけ 　きちょう 　さんぶつ 　とうじ 　くろしま 　てんねんしいたけ 　さんち 　ゆうめい
てる技術が確立する前，椎茸は貴重な産物で，当時の黒島は天然椎茸の産地として有名な
しま
島だったそうです。

くろしま 　きんかい 　そね 　かいゆうぎょ 　よ 　ぎょじょう
また，黒島の近海には，曾根といわれるカツオなどの回遊魚がたくさん寄ってくる漁場が
とうじ 　くろしま 　げんきんしゅうにゅう 　すく 　ふね 　つく 　まくらざき 　ふなぬし
ありました。しかし，当時の黒島では現金収入が少なく，船を造るために枕崎の船主に
かね 　か 　と 　かつおぶし 　すいさんかこうひん 　せいぞう 　はんばい 　か
お金を借りていました。そして，獲れたカツオで鰹節や水産加工品を製造・販売して，借り
かね 　かえ
たお金を返していました。

ご 　まくらざき 　ぼうのつ 　たすう 　ぎよせん 　くろしまきんかい 　しんしゆつ 　ぎょじょう
その後，枕崎や坊津などから多数の漁船が黒島近海に進出してくるようになり，漁場
おさ 　まいとし 　かい 　き 　りょう 　こめ 　おさ 　みかえ 　うみ 　あ 　とき
に収め，さらに，毎年1回は決まった量の米を収めること，その見返りに，海が荒れた時は，
くろしま 　ひなん 　みと 　と 　き
黒島に避難することを認めることなどを取り決めました。

とうじ 　ふね 　れいぞうぎじゆつ 　な 　うえ 　ふね 　おそ 　つ 　あ
また，当時の船は，冷蔵技術が無い上に船のスピードも遅かったため，釣り上げたカツオが

いた かこう ひつよう ふね なか ちよっけい かま つ
傷まないうちに加工する必要があり、船の中に直径80センチメートルほどの釜を積んで
おうきゆうてき かる まくらざき きこう さいどに せいひん し あ おき
応急的にカツオを軽くゆでておき、枕崎に帰港してから再度煮て製品に仕上げる「沖イデ」
せいほう おこな せいほう ひんしつ かつおぶし
製法を行っていました。ただ、この製法では品質のよい鰹節をつくることができなかった
ぎょじょう ちか ほうふ しんりんしげん つか まき きょうきゆう さいてき
ため、漁場に近く、豊富な森林資源があり、かつおをゆでるのに使う薪の供給に最適な
くろしま さぎょうば もう かつおぶし しま ほうほう さいよう
黒島に作業場を設けて鰹節にする「島イデ」という方法が採用されるようになりました。
たいしょう ねん まくらざき せいひょうこうじょう けんせつ ぎょせん さかな せんどほじ こおり つか
大正10年に枕崎に製氷工場が建設され、漁船が魚の鮮度保持のために氷を使える
しま ひつよう げんざい まくらざき みずあ かつおぶし
ようになると、「島イデ」の必要がなくなり、現在のように枕崎にカツオが水揚げされ、鰹節
かこう
に加工されるようになりました。

2 「黒島流れ」について

くろしまなが めいじ ねん がつ にち くろしまちいき りょう おこな ぎょせん ま こ
「黒島流れ」とは、明治28年7月24日に黒島地域で漁を行っていた漁船が巻き込まれた
だいかいなんじ こ どうじ きしょうよほう つうしんき き げんざい はったつ
大海難事故のことです。当時は、気象予報や通信機器というものが、現在のように発達して
てんき よそく はんたん けいけんほうふ りょうし かん たよ
いなかったため、天気の予測や判断は経験豊富な漁師の勘に頼っていました。
どうじ ぎょせん たんはんせん ほ おお たん よ いちばんはば ひろ ところ
当時の漁船は7反帆船（帆の大きさが7反あった）と呼ばれる、一番幅が広い所で3メー
なが もくぞうはんせん ふね おそ うえ かぜ えいきょう う
トル、長さが15メートルぐらいの木造帆船でした。船のスピードが遅い上に風の影響を受
ほうふう せつきん きづ とき つね そうなん かくご
けやすく、暴風の接近に気付いた時は、常に遭難の覚悟をしなければなりません。この
むかし おお かいなんじ こ お おも まくらざき あき
ようなことから、昔から多くの海難事故が起こっていたものと思われます。枕崎で明らか
ぎせいしゃ すうひやくにん そせん かがた ひつぜつ つ
になっている犠牲者だけでも、数百人もいることから、祖先の方々は、筆舌に尽くしがたい
くろう ぎせい はら こんにち ぎょじょう いしずえ きず
苦労とおびたしい犠牲を払いながら、今日の漁業の礎を築いてきました。

お おお かいなんじ こ れきし なか とくひつ だいかいなんじ こ くろしまなが
これまでに起こった多くの海難事故の歴史の中で、特筆すべき大海難事故が「黒島流れ」
どうじ くろしまきんかい そうぎょうちゆう ぎょせん たいふう しゅうらい し しまかげ ひなん
です。当時、黒島近海で操業中の漁船が、台風の襲来を知って島影に避難したものの、
かぜ ふ かえ おお てんぶく かいなんじ こ かなべぐんないぜんたい
風の吹き返しによって多くが転覆してしまいました。この海難事故は、川辺郡内全体で281

そう ふね は せん ぎせいしゃ めい たつ だいさんじ まくらざき めい ぎせいしゃ
艘の船が破船し、犠牲者が713名に達するという大惨事でした。枕崎だけでも411名の犠牲者
で
が出ています。

たいふう さ あと くるしま ひとびと いわば たか がけ した なわ つか お い ひっし
台風が去った後、黒島の人々は岩場や高い崖の下まで縄を使って降りて行き、必死にけが
にん きゆうしゅつ おこな くるしま きちよう こめ ごようじんまい だ あ まくらざき
人の救出を行いました。また、黒島では貴重な米（御用心米）を出し合って、枕崎から
きゆうじょ ふね く けんめい きゆうしゅつ ひと しょくじ せわ かんご
救助の船が来るまで、懸命に救出した人の食事の世話や看護をしました。

とく くるしま せ かいがん にん ほか すいしたい なが つ
特に、黒島のユキノ瀬という海岸には、けが人の他にもおびただしい水死体が流れ着きま
ふらん はげ だれ はんべつ いっ しょ あつ せきゆ かそう
した。腐乱が激しく誰であるか判別できなかったため、一か所に集めて石油をかけて火葬し、
そうなんしゃ いぞく いこつ ぶんばい そうぎ おこな
遭難者の遺族にはその遺骨を分配して葬儀を行いました。

かいなんじ こ いっか おお かせ がしら うしな おお かぞく くる じょうきょう み
この海難事故で、一家の大きな稼ぎ頭を失った多くの家族が苦しんでいる状況を見か
とうじ まくらざきだいがんじ かねひろきょうしんだいむじゅうしょく のこ いぞく じぶん せいかつ
ねた当時の枕崎大願寺の兼広教真代務住職は、残された遺族がこれから自分たちで生活
ささ かつおぶし ぎょうしょう すず ぎょうしょう
を支えていくことができるようにするために鰹節の行商を勧めました。また、この行商
さか まくらざき かつおぶし ぜんこくてき ちめいど たか
がどんどん盛んになっていくとともに、枕崎の鰹節の全国的な知名度も高まっていきました。

まくらざき れきし でんとう し たいけんじぎょう さんか
枕崎の歴史や伝統を知る体験事業に参加しよう！

まくらざきしきょういくいいんかいしょうがいがくしゅうかしゅさいぎょうじ
【枕崎市教育委員会生涯学習課主催行事】

しょうねん ふね れいわ ねん がつ にち にち [しょうがくせいじょうたいしょう]
①「少年の船」：令和5年5月21日(日)[小学生以上対象]

つ たいけん れいわ ねん がつ にち か [ちゅうがくせいじょうたいしょう]
②「かつお釣り体験アドベンチャー」：令和5年7月25日(火)[中学生対象]



しゃしんひだりがわ
【写真左側から①～④】

① くるしま だんがいぜっぺき ようす 黒島の断崖絶壁の様子 ② くるしま しおてばな た びやくいかんのんぞう 黒島の塩手鼻に立つ白衣観音像

③ そうなんげんば けんか ようす しょうねん ふね まくらざきえきまえ おやこぎょうしょう ぞう 遭難現場に献花する様子(少年の船) ④ 枕崎駅前にある親子行商の像

令和5年度 生涯学習課関係の行事について（予定）

1 P T A関係行事

(1) 市P連関係行事（市P連事務局：別府中学校）

月	日	曜日	行事名	場所
4	19	水	市P連運営委員会	枕崎市市民会館
5	18	木	市P連評議員会	枕崎市市民会館
12	9	土	市P連研究委嘱公開（立神小学校）	立神小学校

(2) 地区P連関係行事

月	日	曜日	行事名	場所
6	6	火	地区P連理事会及び総会（同日に開催）	枕崎市市民会館
6	28	水	地区P役員研修会（午後）	南さつま市民会館
10	25	水	地区P会員等教育講演会	指宿市民会館

(3) 県P連関係行事

月	日	曜日	行事名	場所
6	3	土	県P連定期総会	県市町村自治会館
11	14	火	県P連評議員研修会	鹿児島サンロイヤルホテル
2	11	日	県P研究委嘱公開（南薩大会：南九州市）	南九州市知覧文化会館

(4) 県民大学講座・人権問題啓発研修会 → 市内各幼・保・小・中の家庭教育学級に関係する行事

月	日	曜日	行事名	場所
8	29	火	人権問題啓発研修会 10:00～・13:00～	枕崎市市民会館
9	20	水	県民大学講座（家庭教育）15:00～16:30	枕崎市市民会館

2 中生連関係行事（中生連事務局：立神中学校）

月	日	曜日	行事名	場所
5	24	水	弁論大会運営委員会（国語部）	枕崎市市民会館
6	8	木	第1回常任委員会・顧問会（生徒会）	立神中学校
7	7	金	中学校弁論大会	枕崎中学校体育館
12	5	火	第2回常任委員会・顧問会（生徒会）	立神中学校
1	24	水	第3回常任委員会・顧問会（生徒会）	立神中学校

3 ジュニア・リーダーと子ども会関係行事

(1) 市関係行事

月	日	曜日	行事名	場所
4	13	木	第1回市子連理事会	枕崎市市民会館
5	9	火	市子連総会	枕崎市市民会館
7	6	木	第2回市子連理事会	枕崎市市民会館
11	21	火	第3回市子連理事会	枕崎市市民会館
12	2	土	市子ども会大会（※地区行事と兼ねる）	枕崎小学校
1	3	水	市「二十歳のつどい」	枕崎市市民会館
2	4	日	市生涯学習フェスティバル	枕崎市市民会館
2	20	火	第4回市子連理事会	枕崎市市民会館

3	2	土	子ども会新育成会長及びイン・リーダー研修会	枕崎市市民会館
---	---	---	-----------------------	---------

(2) 地区関係行事

月	日	曜日	行事名	場所
5	16	火	第1回地区子連運営委員会及び総会	枕崎市市民会館
6	24	土	地区子ども会大会及び育成者・指導者研修会	南さつま市立金峰学園
11	25	土	地区ジュニア・リーダー研修会	指宿市なのはな館
12	2	土	地区子ども会安全教育研修会及び創作活動大会	枕崎小学校
1	10	水	第2回地区子連運営委員会	南九州市知覧文化会館

(3) 県・九州地区関係行事

月	日	曜日	行事名	場所
6	9	金	県子連総会及び指導者・育成者大会	県青少年会館
6	11	日	第1回県ジュニア・リーダー研修会	県民交流センター
7	2	日	県子ども会安全啓発初級指導者養成研修会	県民交流センター
8	10	木	九州地区子ども会及びジュニア・リーダー研修会（鹿児島大会）	県青少年研修センター：8/12(土)まで
1	21	日	第2回県ジュニア・リーダー研修会	県民交流センター

4 市民あいさつ運動

回	月	日	曜日	A班	B班	回	月	日	曜日	A班	B班
1	4	14	金	桜小	枕小	7	10	20	金	別小	立小
2	5	19	金	枕中	桜中	8	11	17	金	立中	別中
3	6	16	金	立小	別小	9	12	15	金	桜小	枕小
4	7	14	金	別中	立中	10	1	19	金	枕中	桜中
5	8	21	月	枕小	桜小	11	2	16	金	立小	別小
6	9	15	金	桜中	枕中	12	3	15	金	別中	立中

5 青少年育成関係行事

月	日	曜日	行事名	場所
7	25	火	かつお釣り体験アドベンチャー本研修	枕崎港（黒島・口永良部島近海）
7	29	土	少年野球大会（1日目）※予備日：7/31（月）	枕崎市営野球場・塩浜運動場 他
7	30	日	少年野球大会（2日目）※予備日：8/2（水）	枕崎市営野球場・塩浜運動場 他

6 青少年交流関係行事

月	日	曜日	行事名	場所
5	21	日	少年の船	枕崎港⇄三島村（黒島）
8	4	金	稚内市青少年交流派遣事業（枕崎市受入）	8/7（月）早朝まで枕崎市滞在



親として知っておきたいこと

◎ 「週休2日」～部活動や少年団～！！

中学校の部活動は、「平日週1日及び土日のうち1日、合わせて週2日以上^の休養日を設定する」、活動時間は、「長くとも平日では2時間程度、学校の休業日（学期中の週末を含む）は3時間程度とする」が原則です。

適度な休養による心身のリフレッシュは、技能や競技力の向上に不可欠です。部活動は中学校生活の中でも大きなウエイトを占めるものですが、怪我やオーバーワークによる慢性的な疲労によって、つらいだけの思い出にならないようにしたいものです。

また、小学校の少年団活動については、子供たちの発達段階を考慮し、鹿児島県体育協会が「週3回以内、1日2時間以内の活動が原則」と定めています。



◎ 「ヘルメット着用」と「保険加入」は義務！！



「かごしま県民のための自転車の安全で適正な利用に関する条例」（平成29年施行）では、下記のように定められています。

項	内 容
交通安全教育・啓発	○保護者や学校は、自転車利用に関する技能と知識の習得をさせる。
自転車の適正利用	○車両であることを自覚し、点検整備や盗難防止、防犯登録を行う。
乗車用ヘルメットの着用	○保護者は、中学生以下の子にヘルメットを着用させる義務がある。
自転車損害賠償保険等への加入	○自転車利用者は、保険に加入する義務がある。 （実質保護者の義務になります。）

※ 子供たちの安全を確保するために、家庭で必ず確認してください。

※ 道路交通法の改正で、令和5年4月1日から全ての年齢の人を対象に、自転車乗車時のヘルメット着用を「努力義務」にすると定められました。

◎ 枕崎市校外生活指導連絡会より重要なお知らせ！！

「インターネット環境機器の使用は午後9時までとする。」

枕崎市校外生活指導連絡会では、子供たちを取り巻くネット環境から子供を守るために、共通理解事項として「インターネット環境機器の使用は午後9時までとする。」と決めています。

「メディアコントロール」と「ノーメディア」に市内一斉、全ての小学生・中学生が取り組んでいきましょう。

※ メディア機器の使い方をセルフコントロールできるようにする力を身に付けさせることが大切です。



< いざという時の連絡先一覧 >

市内施設等連絡先一覧

施設名	電話番号	施設名	電話番号
枕崎小学校	72-9881	枕崎幼稚園	72-9788
桜山小学校	72-9883	長野幼稚園	72-0076
別府小学校	76-3452	まくらざき保育園	72-0253
立神小学校	72-9885	妙見保育園	72-0613
枕崎中学校	72-1235	火の神保育園	72-8403
桜山中学校	72-0304	富士保育園	72-5334
別府中学校	76-2012	第2ふじ保育園	72-1368
立神中学校	72-6888	立神海の風こども園	72-0315
枕崎高等学校	72-0217	べっふ里山こども園	76-2003
鹿児島水産高等学校	76-2111	枕崎地区公民館	72-9289
枕崎市教育委員会	72-0170	桜山地区公民館	72-2267
枕崎市役所	72-1111	別府地区公民館	76-2010
枕崎警察署	72-0110	立神地区公民館	72-1693
中央交番	72-2239	金山地区公民館	72-9690
枕崎消防署	72-0049	サン・フレッシュ枕崎	58-1112
枕崎市市民会館	72-2221	枕崎市総合体育館	72-1116
枕崎市立図書館	72-9254	枕崎市児童館	72-1362
文化資料センター南浜館	72-9998	片平山児童センター	73-1333

市内医療機関一覧

有山内科	72-5811	園田病院(眼)	72-0165
ウエルフェア九州病院	72-0055	竹さこ医院(産婦)	72-2610
尾辻病院	72-5001	立神リハビリテーション温泉病院	72-7711
小原病院	72-2226		
神園ひふ科クリニック	73-2121	枕崎こどもクリニック	58-1085
茅野内科医院	72-1006	枕崎市立病院	72-0303
久木田整形外科病院	72-3155	松山医院(耳鼻)	72-5050
国見内科医院	72-0066	溝口クリニック	73-5330
サザン・リージョン病院	72-1351	森産婦人科(産婦)	72-2134

枕崎市内医療機関の日曜・祝日在宅医は枕崎市ホームページからご覧になれます。
 検索方法: 枕崎市トップページ>子育て>子育て支援応援サイト>休日夜間・小児救急医療電話相談

子育てで迷った時は・・・

ひとりで悩まないでください!!

- 心の悩み・子供の教育について
 (いじめや不登校, 学校生活, 特別支援教育)
 - ・ 心の悩み110番 **0120-055-699**
 (枕崎市青少年育成センター **0993-72-2221**)
 - ・ 教育委員会学校教育課 **0993-72-0170**
 - ・ かごしま教育ホットライン (鹿児島県教育委員会)
0120-783-574
- 子育て支援について
 - ・ 枕崎市ファミリーサポートセンター
 (NPO法人子育てふれあいグループ「自然花」)
0993-58-1888



愛の鞭ゼロ作戦

子どもを健やかに育むために

子育ての悩みがあるときは

子育てに
体罰や暴言を使わない

[189]

児童相談所全国共通ダイヤル

POINT 1



POINT 5

子どもの気持ちと行動を分けて考え、育ちを応援



POINT 2

子どもが親に恐怖を持つとSOSを伝えられない



POINT 4

親自身がSOSを出そう

POINT 3

爆発寸前のイライラをクールダウン



< 児童相談所虐待対応ダイヤル「189 (いちはやく)」 >

虐待かもと思ったら、児童相談所へご相談ください。児童相談所虐待対応ダイヤル「189(いちはやく)」へかけると、地域の児童相談所につながります。

インターネットに関する悩みがある時は・・・

○ #9110 : 最寄りの警察署または警察相談専用電話

#9110は、発信地を管轄する警察本部等の総合窓口につながります。生活の安全に関わる悩みごと、困りごとなど、緊急ではない相談の窓口です。(受付時間:24時間)

○ 188 : 消費者庁消費者ホットライン

商品やサービスなどの消費生活全般に関する苦情や問合せなどに対し、専門の消費生活相談員などが相談を受け付ける窓口です。

○ 0120-0-78310 : 24時間子供SOSダイヤル (文部科学省)

インターネット上のいじめ問題などの相談窓口です。(受付時間:24時間)

○ 0120-007-110 : 子供の人権110番 (法務局)

インターネット上の嫌がらせなどの子供の悩み事に関する相談窓口です。(受付時間: 平日8時30分~17時15分)